

# 目 次

## 本 編

目 次	頁
1 平成 26 年度 図書館基本方針	2
2 平成 25 年度 事業報告	
<b>施策 1</b> 蔵書の充実（収集と保存）	3
(1)平成 25 年度資料種別受入冊数一般書	
(2)平成 25 年度図書分類別受入冊数と年度末蔵書数	
(3)平成 25 年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数	
(4)平成 25 年度リクエスト購入冊数	
(5)平成 25 年度受入新聞と雑誌等逐次刊行物	
(6)平成 25 年度郷土資料の製本数	
(7)平成 25 年度郷土資料保存事業	
(8)平成 25 年度外国語図書受入数と年度末蔵書冊数	
(9)平成 25 年度視聴覚資料受入数と年度末数	
(10)寄贈資料	
(11)平成 25 年度リユース	
<b>施策 2</b> 資料及び情報提供の充実	13
(1)図書等の貸出	
(2)調査相談の充実	
(3)生活およびビジネス支援の向上	
<b>施策 3</b> 利用者に応じた「よむとす」の推進	19
(1)次世代育成のためのよむとす	
(2)分館サービスの推進	
(3)障がい者・高齢者サービスの充実	
(4)多文化サービスの推進	
(5)市民との協働	
3 平成 25 年度 主な行事等	32

## 資 料 編

1 沿 革	35
2 施 設	43
3 職 員	44
4 図書館協議会委員	45
5 利用案内	46
6 予 算	
(1) 当初予算	46
(2) 平成 25 年度 決算額一覧	47
7 図書館貴重資料など	
(1) マイクロフィルム	48
(2) デジタル資料	48
(3) 特殊コレクション	49
8 利用状況	
(1) 貸出冊数推移	52
(2) 利用者（貸出者）数推移	53
(3) 平成 25 年度 利用が多かった本ベスト 10	54
(4) 利用統計数値（サービス効果）	55
9 「はじめまして絵本」アンケート結果	56
10 図書館関係団体	58

## 【平成 26 年度 教育方針(理念)】

飯田市の教育は、「ムトスの心」と「結いの心」を継承し、「地育力」を向上させ、郷土に愛着と誇りを持って育ち合う、心豊かな人づくりに取り組みます。市民一人ひとりが主人公となり、人と自然が調和する文化の薫りの高いふるさとづくりの教育を推進します。

大人も子どももふるさとを慈しみ、夢をもって共に学びながら生きる力を育む教育を進めます。

## 【平成 26 年度 図書館 基本方針】 [地域の知の拠点として、市民の生涯学習に寄与]

サービス計画に掲げた次の二つを基本方針とし、各施策の実現を目指します。

### I 暮らしと仕事と地域に役立つ図書館を目指します

### II 本と人が出会い、学びが広がる図書館を目指します

施 策	施 策 の 展 開
1 蔵書の充実 (収集と保存)	(1) 図書資料
	(2) 雑誌及び新聞資料
	(3) 郷土資料
	(4) 外国語資料
	(5) その他資料
	(6) 資料の保存及び除籍
2 資料(図書、雑誌等) 及び情報提供の充実	(1) 図書等の貸出
	(2) 調査相談(レファレンス)の充実
	(3) 生活及びビジネス支援の向上
3 利用者に応じた 「よむとす」の推進	(1) 次世代育成のためのよむとす
	(2) 分館サービスの推進
	(3) 高齢者・障がい者サービスの充実
	(4) 多文化サービスの推進

## 【平成 26 年度 図書館 重点事業】

- (1) 定住自立圏形成協定に基づく南信州図書館ネットワークへの豊丘村の円滑な加入と、図書情報等の共有化によりサービスの向上を図る。
- (2) 市民関係団体、研究者、各課館所の研究成果等の郷土資料を計画的に収集・保存する。
- (3) 公民館改築、耐震工事に伴い、上久堅分館、丸山分館、千代分館、下久堅分館の施設整備を進める。
- (4) 高齢者の図書館利用促進に向けて、サービスの検討を進める。
- (5) 地元企業やキャリア教育に関する情報の収集と活用を進める。

施策1 蔵書の充実(収集と保存)

仕事、生活、地域活動において課題解決に役立ててもらえるよう、市民ニーズの高い産業振興、まちづくり、消費税、介護といった本を積極的に購入した。雑誌は将棋、テニス、卓球といった今までなかったジャンルの雑誌を購入した。

郷土資料においては、市民関係団体、研究者、各課館所の研究成果等の収集・保存方法を検討し、収集計画を作成した。また、地元新聞や郷土雑誌、特殊コレクションのデジタル化・マイクロ化を県の交付金を受けて行い、貴重な地域資料の保存に努めた。

エンジョイビデオクラブで作成した地域行事の記録等DVDの寄贈を受け、活用できるようにしたことにより郷土の映像資料が充実した。

分館では、平成25年度も引き続き児童書の基本図書等で足りなかったものを補充した。

(1)平成25年度資料種別受入冊数

①中央図書館

(上段:受入冊数 下段:割合)

一般	郷土	ヤングアダルト	児童書 紙芝居含む	外国語	雑誌	AV	視覚障がい 者用AV	合計
7,412	980	768	1,672	44	2,833	164	159	14,032
52.82%	6.98%	5.47%	11.92%	0.31%	20.19%	1.17%	1.13%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
11,824	1,742	466
84.26%	12.41%	3.32%

②県図書館

(上段:受入冊数 下段:割合)

一般	郷土	ヤングアダルト	児童書 紙芝居含む	外国語	雑誌	AV	視覚障がい 者用AV	合計
1,601	90	173	823	0	819	0	0	3,506
45.66%	2.57%	4.93%	23.47%	0.00%	23.36%	0.00%	0.00%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
3,232	196	78
92.18%	5.59%	2.22%

③上郷図書館

(上段:受入冊数 下段:割合)

一般	郷土	ティーンズ	児童書 紙芝居含む	外国語	雑誌	AV	視覚障がい 者用AV	合計
2,414	161	158	2,307	4	1,094	23	0	6,161
39.18%	2.61%	2.56%	37.45%	0.06%	17.76%	0.37%	0.00%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
5,574	225	362
90.47%	3.65%	5.88%

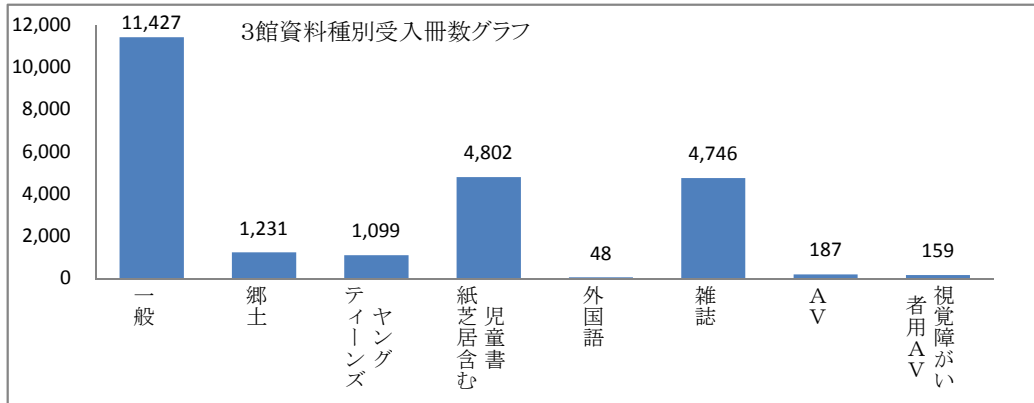
④3館合計

(上段:受入冊数 下段:割合)

一般	郷土	ヤング ティーンズ	児童書 紙芝居含む	外国語	雑誌	AV	視覚障がい 者用AV	合計
11,427	1,231	1,099	4,802	48	4,746	187	159	23,699
48.22%	5.19%	4.64%	20.26%	0.20%	20.03%	0.79%	0.67%	100%

再掲

購入	寄贈	保管替等
20,630	2,163	906
87.05%	9.13%	3.82%



(2)平成25年度図書分類別受入冊数と年度末蔵書数

①中央図書館 一般書

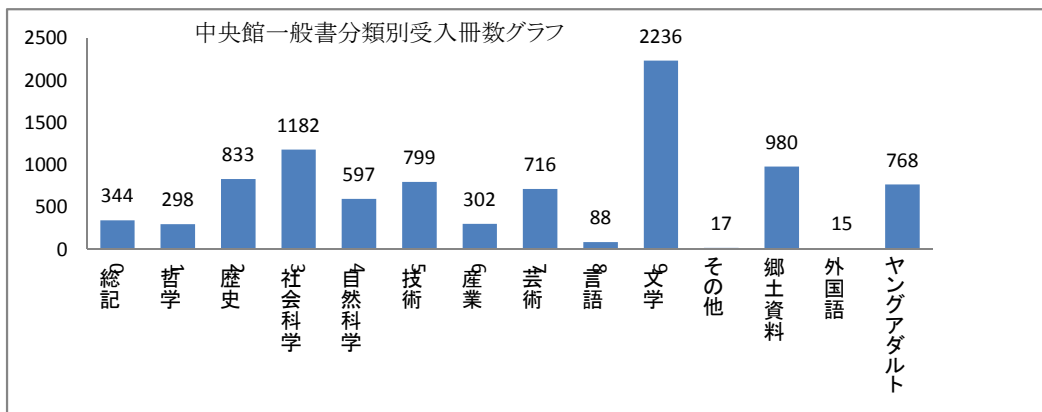
ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
344	298	833	1,182	597	799	302	716	88
3.75%	3.25%	9.08%	12.88%	6.51%	8.71%	3.29%	7.80%	0.96%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計	参考図書	文庫	大活字本
2,236	17	980	15	768	9,175	87	755	24
24.37%	0.19%	10.68%	0.16%	8.37%	100.00%	0.95%	8.23%	0.26%



イ 年度末蔵書数

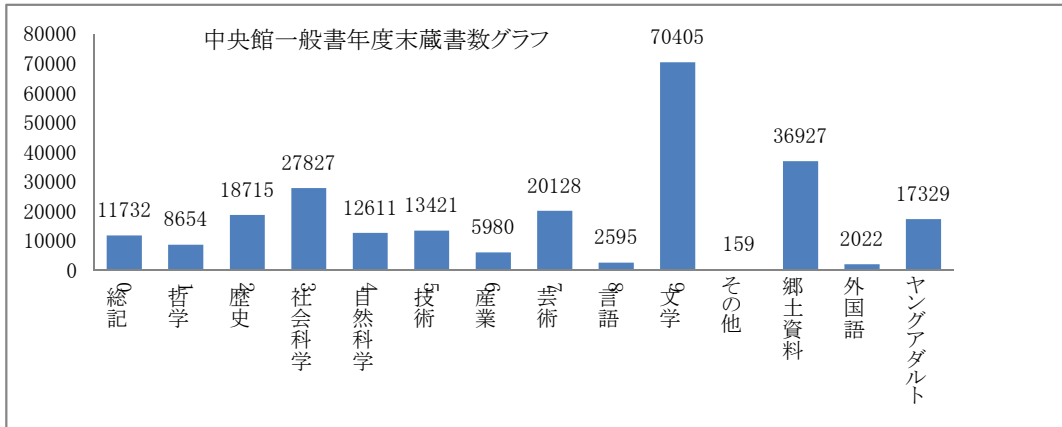
(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
11,732	8,654	18,715	27,827	12,611	13,421	5,980	20,128	2,595
4.72%	3.48%	7.53%	11.20%	5.07%	5.40%	2.41%	8.10%	1.04%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計	参考図書	文庫	大活字本
70,405	159	36,927	2,022	17,329	248,505	2,572	11,096	795
28.33%	0.06%	14.86%	0.81%	6.97%	100.00%	1.03%	4.47%	0.32%





② 県図書館 一般書

ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
38	52	202	91	115	157	36	79	9
2.04%	2.79%	10.83%	4.88%	6.17%	8.42%	1.93%	4.24%	0.48%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計	参考図書	文庫	大活字本
821	2	90	0	173	1,865	1	386	0
44.02%	0.11%	4.83%	0.00%	9.28%	100.00%	0.05%	20.70%	0.00%

イ 年度末蔵書数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
981	596	1,986	1,979	1,445	2,789	556	1,995	287
3.17%	1.93%	6.42%	6.40%	4.67%	9.02%	1.80%	6.45%	0.93%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤングアダルト	計	参考図書	文庫	大活字本
11,649	16	3,533	0	3,107	30,919	86	2,952	84
37.68%	0.05%	11.43%	0.00%	10.05%	100.00%	0.28%	9.55%	0.27%

③ 上郷図書館 一般書

ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
121	87	207	342	208	250	62	189	29
4.43%	3.18%	7.57%	12.51%	7.61%	9.15%	2.27%	6.92%	1.06%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ティーンズ	計	参考図書	文庫	大活字本
917	2	161	0	158	2,733	5	253	32
33.55%	0.07%	5.89%	0.00%	5.78%	100.00%	0.18%	9.26%	1.17%

イ 年度末蔵書数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
3,381	2,457	7,134	10,711	5,297	7,174	2,091	9,106	1,815
3.36%	2.44%	7.08%	10.63%	5.26%	7.12%	2.08%	9.04%	1.80%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ティーンズ	計	参考図書	文庫	大活字本
34,035	13	8,382	87	9,077	100,760	522	5,670	991
33.78%	0.01%	8.32%	0.09%	9.01%	100.00%	0.52%	5.63%	0.98%

④3館合計 一般書

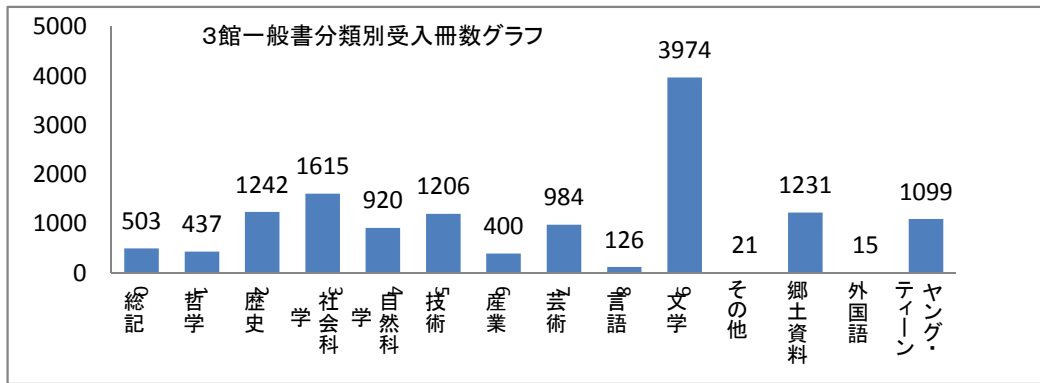
ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
503	437	1,242	1,615	920	1,206	400	984	126
3.65%	3.17%	9.02%	11.73%	6.68%	8.76%	2.90%	7.14%	0.91%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤング・ティーン	計	参考図書	文庫	大活字本
3,974	21	1,231	15	1,099	13,773	93	1,394	56
28.85%	0.15%	8.94%	0.11%	7.98%	100.00%	0.68%	10.12%	0.41%



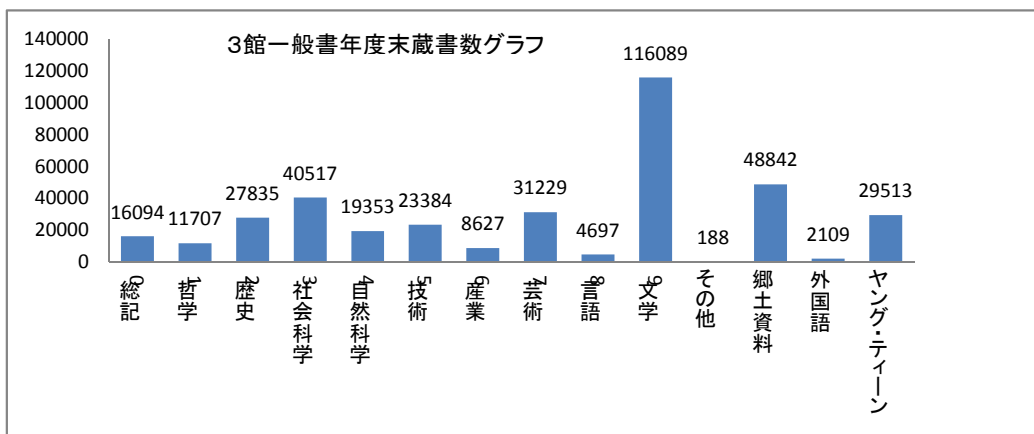
イ 年度末蔵書数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
16,094	11,707	27,835	40,517	19,353	23,384	8,627	31,229	4,697
4.23%	3.08%	7.32%	10.66%	5.09%	6.15%	2.27%	8.21%	1.24%

再掲

9文学	その他	郷土資料	外国語	ヤング・ティーン	計	参考図書	文庫	大活字本
116,089	188	48,842	2,109	29,513	380,184	3,180	19,718	1,870
30.53%	0.05%	12.85%	0.55%	7.76%	100.00%	0.84%	5.19%	0.49%



⑤中央図書館 児童書

ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
15	10	74	88	196	72	44	94	8
0.88%	0.59%	4.35%	5.17%	11.52%	4.23%	2.59%	5.53%	0.47%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
310	717	44	29	1,701
18.22%	42.15%	2.59%	1.70%	100.00%

イ 年度末蔵書数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
764	324	2,480	2,576	7,479	1,879	1,051	3,296	539
1.08%	0.46%	3.52%	3.65%	10.61%	2.67%	1.49%	4.68%	0.76%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
21,098	26,746	1,737	512	70,481
29.93%	37.95%	2.46%	0.73%	100.00%

⑥ 鼎図書館 児童書

ア 分類別受入冊数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
20	4	41	23	80	31	17	51	12
2.43%	0.49%	4.99%	2.80%	9.73%	3.77%	2.07%	6.20%	1.46%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
155	382	6	0	822
18.86%	46.47%	0.73%	0.00%	100.00%

イ 年度末蔵書数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
338	96	641	679	2,068	676	322	1,160	210
1.47%	0.42%	2.79%	2.95%	8.99%	2.94%	1.40%	5.04%	0.91%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	計
5,835	10,247	725	11	23,008
25.36%	44.54%	3.15%	0.05%	100.00%

⑦ 上郷図書館 児童書

ア 分類別受入冊数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
22	20	26	57	111	40	30	123	8
0.95%	0.87%	1.13%	2.47%	4.80%	1.73%	1.30%	5.32%	0.35%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
333	1,299	35	4	203	2,311
14.41%	56.21%	1.51%	0.17%	8.78%	100.00%

イ 年度末蔵書数 (上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
682	119	561	1,593	3,560	1,254	701	1,852	408
1.15%	0.20%	0.95%	2.70%	6.03%	2.12%	1.19%	3.14%	0.69%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
12,497	24,474	1,979	1,027	8,341	59,048
21.16%	41.45%	3.35%	1.74%	14.13%	100.00%

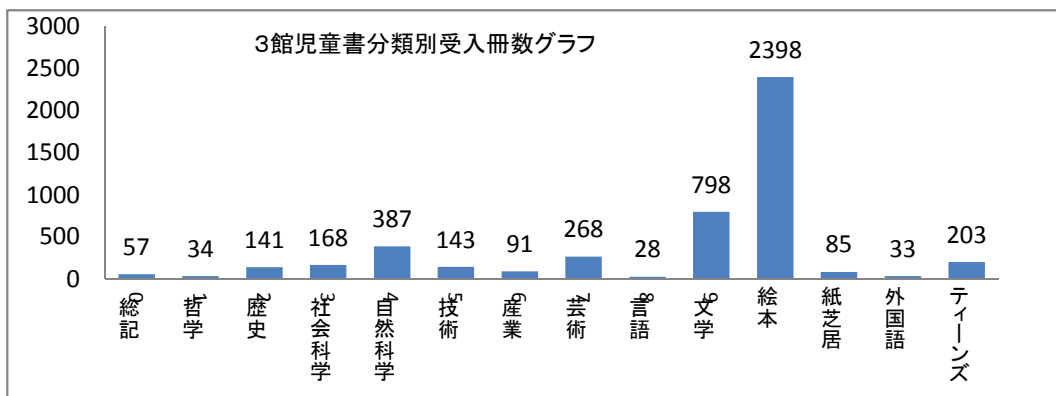
⑧3館合計 児童書

ア 分類別受入冊数

(上段:受入冊数 下段:割合)

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
57	34	141	168	387	143	91	268	28
1.18%	0.70%	2.92%	3.48%	8.01%	2.96%	1.88%	5.54%	0.58%

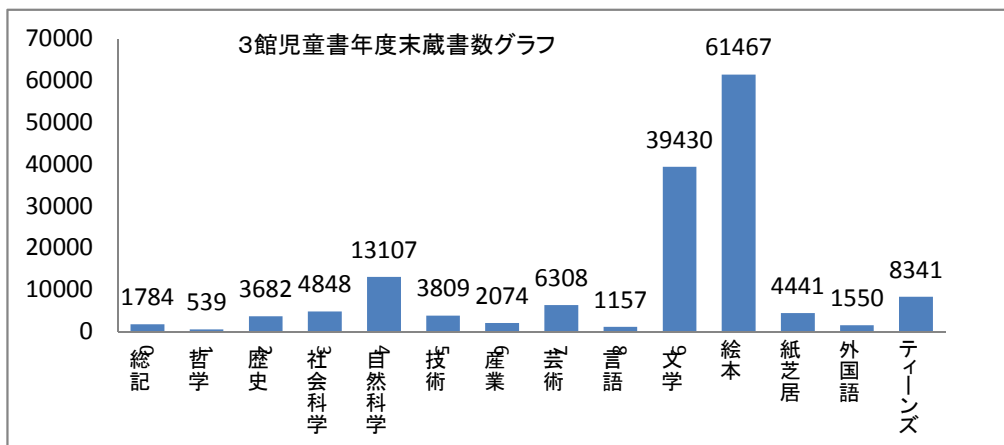
9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
798	2,398	85	33	203	4,834
16.51%	49.61%	1.76%	0.68%	4.20%	100.00%



イ 年度末蔵書数

0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術	6産業	7芸術	8言語
1,784	539	3,682	4,848	13,107	3,809	2,074	6,308	1,157
1.17%	0.35%	2.41%	3.18%	8.59%	2.50%	1.36%	4.14%	0.76%

9文学	絵本	紙芝居	外国語	ティーンズ	計
39,430	61,467	4,441	1,550	8,341	152,537
25.85%	40.30%	2.91%	1.02%	5.47%	100.00%



(3) 平成25年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数

館名	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代 (内千栄)	龍江	竜丘
受入冊数	415	432	495	356	548	503	391	450	317	679
うち子どもの本	135	165	107	91	254	217	178	190	137	257
除籍冊数	271	672	268	352	498	378	376	111	257	376
うち子どもの本	27	509	49	97	19	53	230	27	20	28
保管換等による増減	0	11	1	0	4	49	4	0	0	1
蔵書冊数	10,466	10,752	10,858	8,488	17,889	10,682	8,957	12,740 (2,509)	10,176	16,837
うち子どもの本	6,078	6,102	6,607	4,826	11,494	7,191	5,653	8,295 (1,921)	7,249	9,719

館名	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	鼎	上郷	中央	合計
受入冊数	461	404	442	725	306	448	3,506	6,161	14,032	31,071
うち子どもの本	186	191	196	260	170	180	823	2,307	1,672	7,716
除籍冊数	360	171	478	315	69	227	2,765	3,543	4,909	16,396
うち子どもの本	109	9	0	105	0	0	273	1,215	390	3,160
保管換等による増減	0	0	1	0	0	0	△ 433	△ 489	0	△ 851
蔵書冊数	10,606	10,376	11,644	22,981	5,952	7,610	57,267	167,771	342,395	754,447
うち子どもの本	7,135	6,787	7,762	13,305	3,440	4,050	22,997	49,680	69,969	258,339

(4)平成 25 年度リクエスト購入図書冊数

受入館	中央	県	上郷	分館合計	合計
リクエスト購入冊数	1,885	451	524	648	3,508
(割合)	(19.9%)	(18.5%)	(11.6%)	(12.5%)	(16.2%)
購入図書冊数	9,478	2,440	4,504	5,185	21,607

(5)平成 25 年度 受入新聞と雑誌等逐次刊行物

	中央	県	上郷
新聞継続受入数	24 紙	8 紙	10 紙
雑誌継続受入数	214 誌	63 誌	80 誌

平成 25 年度 新規受入雑誌・新聞

- 中央 「dancyu」(グルメ情報)、「週刊文春」(週刊誌)、「いきいき」(生活)、「テニスマガジン」(スポーツ)、「卓球レポート」(スポーツ)、「NHK 将棋講座」(趣味)、「新アララギ」(趣味)、「e-10」(地域情報)、「TIME」(時事・英語版)
- 県 「ソトコト」(エコ情報)、「日経ヘルス」(健康)、  
中日こどもウィークリー(新聞)
- 上郷 「素晴らしい一日」(健康)、「PEAKS」(アウトドア)



(6)平成 25 年度 郷土資料の製本数

複製版製本	29 冊
修理製本	14 冊

(7)平成 25 年度 郷土資料保存事業 総事業費 14,910,000 円

①郷土新聞のデジタル化・マイクロフィルム化

新聞名	デジタル化 (頁)	マイクロ化 (コマ)	備考
新信州日報 昭和 20 年 11 月～昭和 21 年 12 月	628	628	マイクロ 2 巻・デジタル化
伊那公報 明治 29 年 9 月～明治 31 年 8 月 他	654	268	マイクロ(新信州日報マイクロを含む)・デジタル化
飯田新聞・飯田日日 他	137	137	マイクロ(Ⅱ)・デジタル化
信濃時事新聞 大正 4 年 8 月～昭和 14 年 7 月	9,606	—	マイクロからデジタル化
信濃大衆新聞 昭和 2 年 8 月～昭和 14 年 7 月	8,582	—	マイクロからデジタル化
信州合同新聞 昭和 14 年 8 月～昭和 17 年 4 月	5,136	—	マイクロからデジタル化
深山自由新聞 明治 15 年	48	—	マイクロからデジタル化
飯田毎日新聞 昭和 10 年 10 月～14 年 5 月	1,872	—	マイクロからデジタル化
週刊下伊那、上郷時報 他	7,564	—	マイクロからデジタル化

②郷土雑誌・貴重資料等のマイクロ・デジタル化

資料名	デジタル化 (頁)	マイクロ化 (コマ)	備考
雑誌「伊那」 昭和 27 年 8 月～昭和 50 年 12 月	7,022	7,022	マイクロ 13 巻・デジタル化
森本資料	12,068	12,068	マイクロ 24 巻・デジタル化
小林郊人俳句関係資料	3,294	3,294	マイクロ 6 巻・デジタル化
村勢要覧・「政治と青年」 他 69 件	1,817	1,817	マイクロ 3 巻・デジタル化
郷土書籍 75 冊	4,117	3,402	マイクロ 6 巻・デジタル化
市岡文書 文書・書簡 760 件 (図書は未)	9,146	-	デジタル化
堀家蔵書 (太宰春台著書他) 57 件	9,661	-	デジタル化

(8)平成25年度外国語図書受入数と年度末蔵書冊数

		英語	中国語	韓国語	ドイツ語	フランス語	ポルトガル語 スペイン語	その他	合計
25 年度 受入数	中央	15	19	2	0	1	7	0	44
	県	0	0	0	0	0	0	0	0
	上郷	4	0	0	0	0	0	0	4
	合計	19	19	2	0	1	7	0	48
25 年度 末蔵書 冊数	中央	1,155	1,014	78	8	4	276	33	2,568
	県	9	0	0	0	0	2	0	11
	上郷	1,007	9	9	46	17	26	41	1,155
	合計	2,171	1,023	87	54	21	304	74	3,734

その他…イタリア語・ロシア語・タガログ語

(9)平成 25 年度視聴覚資料受入数と年度末数

		紙芝居	ビデオ	DVD	マイクロ フィルム	CD	カセット
25 年度 受入数	中央	44	0	143	54	21	0
	県	6	0	0	0	0	0
	上郷	35	0	1	0	22	0
	合計	85	0	144	54	43	0
25 年度 末数	中央	1,737	183	311	947	179	50
	県	725	1	47	0	9	4
	上郷	1,979	8	43	0	409	1,002
	合計	4,441	192	401	947	597	1,056

## (10) 寄贈資料

平成 25 年度 寄贈資料数

館	中央	県	上郷	分館	合計
冊数	1,742	196	225	747	2,910

主な寄贈資料



### ①エンジョイビデオクラブ寄贈 映像資料

エンジョイビデオクラブが作成した、地域の行事などの映像資料DVD・ブルーレイ65タイトル138点の寄贈を受けた。内容は「遠山霜月まつり」、「竹宵まつり」といった行事映像から「市田柿ができるまで」「ひさかた和紙」といった伝統産業まで様々で、後世に伝えていきたい貴重な映像資料も含まれる。今後も制作されたところで順次寄贈いただいている。

受入により僅少だった映像地域資料が増加し、高齢者福祉施設などの団体でも利活用していただいている。

### ②長野県建築士事務所協会飯伊支部 寄贈資料

毎年 10 万円ずつ青少年健全育成のためにご寄贈いただき、平成 25 年度で 14 回目となった。平成 25 年度は建築の仕事に興味をもってもらうような資料をとの要望が協会からあったため、『土の総合学習』全4巻、『職場体験学習に行ってきました』全 10 巻、『世界にほこる日本の先端科学技術』全 4 巻など子どもたちが仕事に興味をもってもらえるような本を中心に購入した。これまでの累計は 379 冊(140 万円)になった。



## (11) 平成 25 年度 除籍本の リユース

平成 25 年度還元冊数

館	中央	県	上郷	合計
冊数	7,340	2,382	2,420	12,142
提供日	毎週木曜日	毎週土曜日	毎月第4土曜日	



## 施策2 資料及び情報提供の充実

### (1) 図書等の貸出

中央・県・上郷館合計の利用統計をみると、60歳以上の利用は増加しているが、子どもから30代までの利用は減少している。この傾向は数年間続いており、今後若年層の利用をどのように伸ばしていくかが大きな課題となっている。

平成23年7月に稼働した南信州図書館ネットワークは、業者委託による週3回の予約本回送も順調に行われ、飯田市、松川町、高森町の三市町間での蔵書の相互利用数は年々増えている。

予約数の合計はほぼ昨年並みであるが、前年度同様インターネット予約の利用が伸びている。分館からのインターネットによる予約も定着してきた。

#### ①平成25年度 館別利用状況 (15、16 ページ資料)

#### ②平成25年度来館者数(中央図書館のみ) 165,551人 (対24年度比94.2%)

#### ③登録者数

##### ア 平成25年度新規登録者数

	中央	県	上郷	合計
個人(子ども)	474	136	195	805
(大人)	1,555	138	357	2,050
団体	59	6	6	71
合計	2088	280	558	2,926

##### イ 飯田市在住者登録者数・平成25年度内に利用した登録者数 (個人)

	中央	県	上郷	合計
登録者数(累計)	15,409	2,723	4,528	22,660
内飯田市在住者登録数	13,292	2,618	4,008	19,918(87.9%)
有効登録者数(平成25年度に利用した登録者数)	9,287	1,868	2,855	14,010(61.8%)

#### ④南信州図書館ネットワーク内自治体間貸出・借受

※23年7月ネットワーク稼働

( )は3市町内での割合

	飯田市			松川町			高森町		
	25年度 25.4-26.3	24年度 24.4-25.3	23年度 23.7-24.3	25年度 25.4-26.3	24年度 24.4-25.3	23年度 23.7-24.3	25年度 25.4-26.3	24年度 24.4-25.3	23年度 23.7-24.3
貸出 冊数	7,947 (41%)	6,692 (37.0%)	4,145 (36%)	7,665 (39%)	7,859 (43.4%)	4,976 (43%)	4,009 (20%)	3,541 (19.6%)	2,549 (22%)
借受 冊数	10,209 (52%)	9,939 (54.9%)	6,529 (56%)	3,694 (19%)	3,367 (18.6%)	2,021 (17%)	5,718 (29%)	4,786 (26.5%)	3,120 (27%)

⑤相互貸借

	中央	県	上郷	計	H24	前年比
貸出冊数	626	27	95	748	754	99.2%
借受冊数	533	216	94	843	1,085	77.7%

※借受減少は、購入できる図書はできるだけ購入してリクエストに対応したため

⑥予約数

	中央	県	上郷	分館	計	H24	前年比
予約総件数	24,326	11,313	9,286	4,826	49,751	49,844	99.8%
個人	WEB	10,491	4,854	4,092	—	19,437	112.0%
	OPAC	2,200	405	2,357	—	4,962	90.5%
	窓口ほか	10,115	5,244	2,644	—	18,003	97.7%
団体	窓口ほか	1,520	810	193	—	2,523	61.3%

⑦テーマ本の展示

	中央	県	上郷	計
資料展示件数	62	34	47	143



南信州新聞 H25.9.6 より

### 県の道の歴史を紹介

県図書館 江戸から現代までを地図で

飯田市鼎地区の道の正、平成の各時代の道変遷をたどるパネル展が、同市鼎の市鼎図書館で始まった。中平区は、中心市街地にあった飯田城や一色の萱垣が整備されており、松川に沿って北西から南東にかけて直線的な道路がつけられている。現在では異なる様相、住宅地が集積している。エリアのほとんどが農川や水路は江戸時代からそれほど変わっていない。

職場体験で同館の運営を手伝っている同市立旭ヶ丘中学校2年生の矢澤琉那さん(13)は、「今とは違うところに道路があって、不思議な感じがする」と話していた。

展示は今月末まで。問い合わせは県図書館(電話☎9901)へ。

県図書館で始まったパネル展

①-1 平成25年度 館別利用状況

(単位:人・冊)

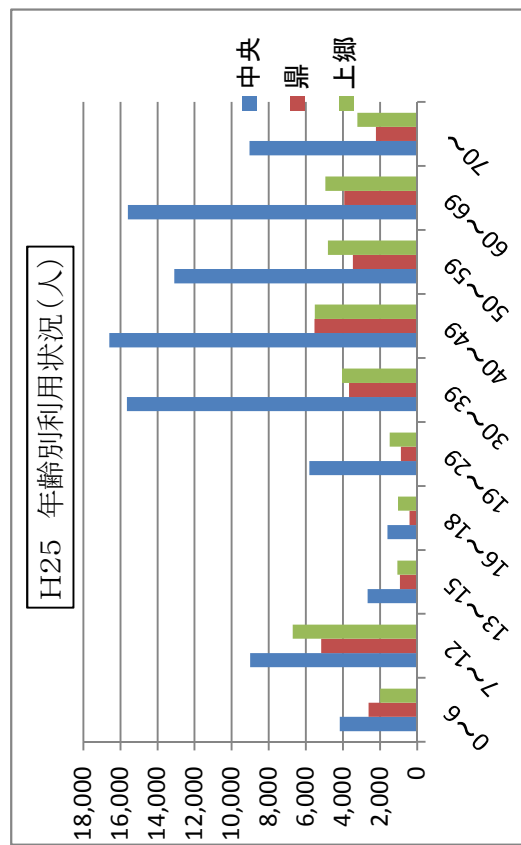
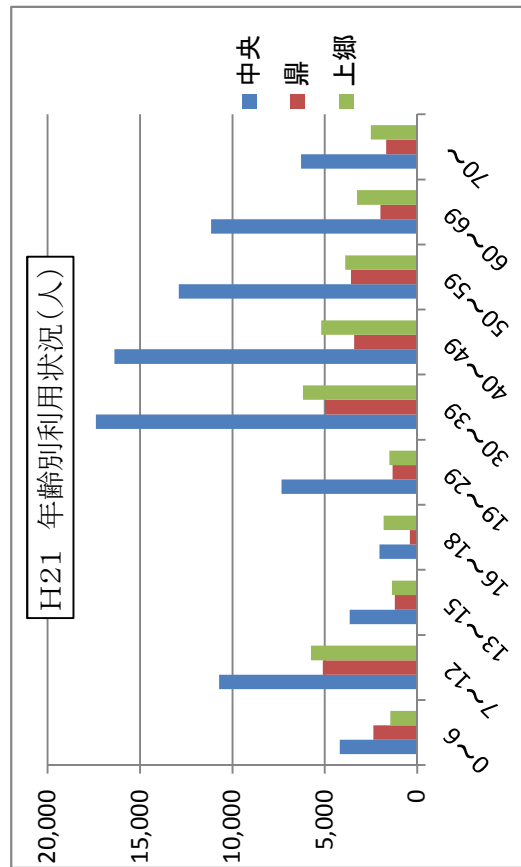
	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	分館計	中央	県	上郷	合計	
こども	244	72	119	127	359	252	59	111	101	409	85	82	217	937	2	37	3,213	3,239	1,214	1,330	8,996	
大人	142	72	107	63	210	135	56	71	76	257	64	53	102	478	6	40	1,932	12,170	1,509	3,198	18,809	
団体	0	1	0	1	17	8	1	2	15	2	4	13	17	17	0	4	102	291	67	119	579	
計	386	145	226	191	586	395	116	184	192	668	153	148	336	1,432	8	81	5,247	15,700	2,790	4,647	28,384	
こども	2,496	507	1,434	1,173	2,505	2,331	815	1,120	736	3,697	1,330	2,299	1,579	6,562	130	335	29,049	15,860	8,711	9,755	63,375	
大人	1,965	892	1,245	943	1,731	1,622	751	800	813	3,127	1,219	785	1,173	3,742	233	344	21,385	77,401	20,134	25,065	143,985	
団体	1	3	0	1	135	53	18	19	177	27	7	106	317	116	54	21	1,055	1,700	968	914	4,637	
計	4,462	1,402	2,679	2,116	4,236	3,953	1,566	1,939	1,726	6,851	2,556	3,190	3,069	10,420	417	700	51,489	94,961	29,813	35,734	211,997	
こども	6,604	1,477	4,500	3,888	8,561	6,619	1,958	3,266	2,367	13,916	3,463	4,926	5,437	23,210	283	1,212	91,687	84,320	45,014	41,401	262,422	
大人	4,399	2,539	3,820	2,871	5,666	4,468	2,077	1,959	2,420	11,702	2,901	2,177	3,545	12,138	532	1,153	64,367	294,913	70,054	89,796	519,130	
団体	10	180	0	1	2,378	532	530	236	2,708	771	301	1,667	2,132	2,347	346	440	14,579	13,063	8,138	9,133	44,913	
計	11,013	4,196	8,320	6,760	16,605	11,619	4,565	5,461	7,495	26,389	6,665	8,770	11,114	37,695	1,161	2,805	170,633	392,296	123,206	140,330	826,465	

①-2 平成25年度 年齢別利用状況(利用者数)

	0～6	7～12	13～15	児童計	16～18	19～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	一般計	合計
中央	4,181	9,012	2,667	15,860	1,599	5,815	15,652	16,604	13,088	15,596	9,047	77,401	93,261
県	2,612	5,173	926	8,711	418	880	3,680	5,543	3,467	3,927	2,219	20,134	28,845
上郷	1,991	6,704	1,060	9,755	1,027	1,487	4,050	5,524	4,803	4,948	3,226	25,065	34,820
3館計 (a)	8,784	20,889	4,653	34,326	3,044	8,182	23,382	27,671	21,358	24,471	14,492	122,600	156,926
年齢別人口 (H26.3) (b)	6,382	5,889	3,176	15,447	3,021	10,121	12,035	13,076	12,723	14,739	23,792	89,507	104,954
利用者数(a)／人口(b)	1.4	3.5	1.5	2.2	1.0	0.8	1.9	2.1	1.7	1.7	0.6	1.4	1.5

平成21年度 年齢別利用状況(利用者数)

	0～6	7～12	13～15	児童計	16～18	19～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	一般計	合計
中央	4,198	10,712	3,661	18,571	2,046	7,350	17,382	16,383	12,901	11,146	6,277	73,485	92,056
県	2,374	5,115	1,205	8,694	400	1,337	4,994	3,402	3,575	1,988	1,679	17,375	26,069
上郷	1,454	5,741	1,372	8,567	1,816	1,508	6,183	5,191	3,900	3,248	2,510	24,356	32,923
3館計 (a)	8,026	21,568	6,238	35,832	4,262	10,195	28,559	24,976	20,376	16,382	10,466	115,216	151,048
年齢別人口 (H26.3) (b)	6,898	6,390	3,247	16,535	3,219	11,319	13,784	12,577	14,305	14,439	22,561	92,204	108,739
利用者数(a)／人口(b)	1.2	3.4	1.9	2.2	1.3	0.9	2.1	2.0	1.4	1.1	0.5	1.2	1.4



## (2) 調査相談の充実

緊急雇用創出事業等の交付金で行ってきたデジタル化により、25 年度末までに戦前戦後の郷土新聞がおおよそパソコンで閲覧できるようになった。「新聞閲覧システム」により貴重な郷土新聞が簡単に閲覧・検索ができるようになり、利用する方も増えている。23・24 年度に登録を行った美術博物館・柳田國男館・上郷考古博物館・歴史研究所の所蔵資料情報を、7月から図書館ホームページ等に公開し、市民や研究者の方に利用してもらえる態勢づくりを行った。

また、国立国会図書館の「図書館等向けデジタル資料送信サービス」を受け、2月から中央館のパソコンで国会図書館のデジタル資料を閲覧できるようになり、これまで時間をかけて図書やコピーを取り寄せていたもののうち、その場で閲覧できるものが増えた。

### ①レファレンス(調査相談)サービス件数

	中央	県	上郷	合計	H24
レファレンス総件数	2,237	418	673	3,328	4,194
うち口頭	1,902	388	637	2,927	3,798
うち電話	298	30	36	364	370
うちメール・文書	37	0	0	37	26

### ②複写サービス

#### ア 館内資料

	中央	県	上郷	合計	H24
件数	2,405	126	399	2,930	3,103
枚数	19,229	505	1,715	21,449	22,668

#### イ 他館資料

	中央	県	上郷	合計	H24
件数	27	0	0	27	46



国立国会図書館デジタルコレクション

### ③インターネットによる情報サービス

ア 図書館ホームページアクセス数 68,950 件 (H24 61,475 件)

イ「よむとす～こんな本いかが～」の掲載

図書館職員による、図書館所蔵のおすすめ本の紹介をしている。月2回の更新。

ホームページでの紹介と合わせ地元新聞へも掲載し、情報発信を行っている。掲載本の予約も増加している。

ウ 美術博物館・歴史研究所の蔵書データを図書館ホームページ上に公開

平成 25 年度末 美術博物館・上郷考古博物館・柳田國男記念館・歴史研究所所蔵図書 登録冊数

美術博物館	柳田國男館	上郷考古博物館	歴史研究所
26,923 冊	4,459 冊	7,260 冊	13,427 冊

エ 新聞閲覧システム等

デジタル化した郷土新聞が、より簡単に検索・閲覧ができるようになり、利用されている。今後、デジタル化した郷土新聞及び郷土雑誌の一覧をホームページに公開し、利用促進を図る。



### (3)生活およびビジネス支援の向上

暮らしと仕事に役立つ図書館として、社会・経済・産業分野を中心に資料充実を図っている。平成 25 年度は、「トコトやさしい歯車の本」等の実用書や「会社年鑑」「実用木材・木質材料小事典」等の参考書や「建築入門」等の専門書を購入した。

地元企業の経営理念や技術史を若手職員に継承するため、社史講座を開催した。また、成年後見支援センターと連携した成年後見制度に関する講座や、農業課と連携した市田柿に関するイベントを実施し、仕事関係者だけでなく、多様な層の参加を得た。

#### ①中央図書館中二階テーマ展示 12回

・暮らしと仕事に役立つテーマで、本の展示を行っている。

#### ②パスファインダー数

- ・児童 作成 2件 更新 3件 累計 25件
- ・郷土資料 作成 1件 更新 3件 累計 31件



「社史講座」

#### ③各種講座

ア「社史講座」講師:村橋勝子氏 平成 25 年 10 月 31 日 (木) 参加 14 名

イ「ご存じですか、成年後見制度」講師:成年後見支援センター職員

平成 26 年 1 月 19 日(日) 参加 21 名

平成 25 年 7 月に成年後見支援センターが開設され、新制度周知のために、DVDの上映、説明、本の紹介を行った。民生委員の交代時期と重なり関心が高く多くの参加者を得ることができた。

ウ「聞こう学ぼう市田柿」長野県図書館協会共催事業、農業課連携事業

地元の特産物に愛着をもってもらうため、2回のイベントとパネル展示「干し柿ができるまで」を実施した。

・「朗読駅伝 柿ものがたり」平成 26 年 1 月 12 日(日) 参加 114 名

青木裕子さん(元NHKアナウンサー)を招き、「柿」が出てくる物語の朗読を聴く会を行った。青木さんの朗読に続き、12名の市民の方が駅伝形式で朗読を行い、図書館職員が本の紹介をした。

・「たべて遊んで柿づくし」平成 26 年 1 月 18 日(土) 参加 31 名

DVDで干柿の作りの工程を学び、親子で柿を使った簡単なお菓子づくりを行った。

このDVDは今回の企画に合わせ、エンジョイビデオクラブへ制作依頼した作品である。



「ご存じですか、成年後見制度」



「たべて遊んで柿づくし」

### 施策3 利用者に応じた「よむとす」の推進

#### (1)次世代育成のための「よむとす」

飯田市の教育が目指す『地育力による、心豊かなひとづくり』のため、図書館では次世代を担う子どもたちの読書推進に重点的に取り組んでいる。

昨年度は、「はじめまして絵本」事業についてのアンケートを実施し、事業効果を検証した。また市内の小中学校で読みきかせを行っているボランティアの実態調査を行った。子ども対象の行事や読みきかせのほか、市民や他機関と協働した取り組みを実施して、読書啓発と図書館の利用拡大を図っている。

子どもの近くにいる大人が読書を通して心豊かな生活と生きる喜びを獲得することが、子ども達の読書環境向上や生きる力や夢を育むことにつながると考え、大人向け講座等も実施している。

#### ①はじめまして絵本事業

実施会場： 鼎保健センター・松尾公民館・伊賀良公民館

内 容： 7ヶ月児相談・・・絵本の紹介・絵本の話・絵本の読みきかせ・わらべうた・絵本の配布  
2歳児相談・・・絵本の読みきかせ・わらべうた・絵本の話

#### 【25年度 7ヶ月児及び2歳児相談受診人数と受診率】

7ヶ月児相談	2歳児相談
879人(99.7%)	848人(94.7%)

#### 「はじめまして絵本」アンケート調査

概ね5年ごとに実施しているアンケート調査を、飯田市内公立及び私立保育園・幼稚園に在園する年少児の保護者を対象に実施し、事業効果を検証した。その結果、本事業は家庭での読みきかせや図書館利用につながり、家庭読書への理解が浸透してきていることが確認できた。しかし、前回調査に比べ、日常生活の一部として読みきかせを行っている割合が5.7%減少しており、読みきかせの大切さは理解していても、何らかの理由で実行できていない状況がうかがわれる。

\*アンケート結果については資料編に掲載



2歳児相談（鼎保健センター）

#### わらべうたを楽しむ親子





②読みきかせサービス等

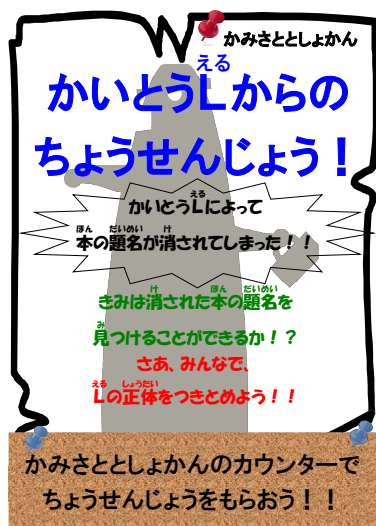
	内 容	件数(回)	人数(人)
中央 鼎 上郷	お楽しみ会・おはなし会・行事等	165	2,598
	講座(こどもの本の会・えほんの会)	20	217
	幼・保育園 読みきかせ	152	3,645
	小学校・児童館 読みきかせ	8	242
	高校での絵本講座(下農)	1	24
	美博まつり	1	78
	育児サークル・乳幼児学級等	23	506
3館	小計	370	7,310
分館	行事等	601	12,932
	合 計	971	20,242



おもしろ科学工房とのコラボ  
「くうきであそぼう」(上郷)



「ジャンボおたのしみ会」(中央)



夏休み企画「かいとうLクイズ」(上郷)



「ぐりぐら大作戦」(鼎)



### ③読みきかせボランティアの育成・支援

- ・読みきかせボランティアの会では、年数回のグループ代表者会と年1回の研修会を通じ、グループ間の交流や会員の育成を行っている。25年度は子どもゆめ基金の助成を受けて、研修会として「東京子ども図書館の職員の方によるおはなし会」を実施した。

【研修会】9月27日(金) 19時～20時30分 参加者71名

9月28日(土) 10時～11時30分 参加者54名

- ・飯田市内の小・中学校で行われている「学校読みきかせボランティア」の実態を把握するために、市内28校の小・中学校の学校図書館担当者を対象に、アンケートを実施した。そのアンケート結果をふまえて、学校読みきかせボランティアへの支援の充実を図っていく予定である。

### ④図書館体験プログラム

各種プログラムの体験を通じて、図書館や資料により親しんでもらい、読書を楽しみ、生涯にわたる図書館利用の基礎をつくることを目的に、図書館体験プログラムを推進した。

平成25年度 実績数

(単位:人)

プログラム名	中央		県		上郷		合計	
	件数	延べ人日	件数	延べ人日	件数	延べ人日	件数	延べ人日
資料整理業務体験	35	52	5	13	5	20	45	85
利用サービス業務体験	33	49	5	13	5	16	43	78
図書館利用体験	14	361	16	489	12	412	42	1,262
障害者サービス体験	6	8	5	5	0	0	11	13
特殊資料ミニ講座	1	9	0	0	0	0	1	9
子どもの本ミニ講座	1	9	0	0	0	0	1	9
合計	90	488	31	520	22	448	143	1,456



読みきかせボランティアの会研修会  
「東京子ども図書館の方によるおはなし会」(上郷)



中学生の図書館サービス業務体験

⑤文章講座

読むことを深めるために、書くことの勉強会として始まった文章講座は、昭和 57 年1月に第 1 期が開講して以来、年を重ねて平成 25 年度には第 31 期を迎えた。

第 1 期～15 期は小原謙一氏が、第 16 期～30 期は清水貫司氏が講師を務め、第 31 期からは鎌倉貞男氏を新たに講師に迎えて、平成 26 年 5 月に第 32 期が開講した。

歴代 文章講座 受講者および修了者数

期	年	講 師	会 場	受講者	修了者
1	昭和 57 年(1982)1 月～12 月	小原 謙一 先生	飯田図書館	118	75
2	昭和 58 年(1983) "	"	"	60	42
3	昭和 59 年(1984) "	"	"	50	33
4	昭和 60 年(1985) "	"	"	30	20
5	昭和 61 年(1986) "	"	"	36	32
6	昭和 62 年(1987) "	"	"	24	20
7	昭和 63 年(1988) "	"	"	35	35
8	平成元年(1989) "	"	"	45	30
9	平成 2 年(1990) "	"	"	26	22
10	平成 3 年(1991) "	"	"	25	20
11	平成 4 年(1992) "	"	"	38	33
12	平成 5 年(1993) "	"	中央図書館(改称)	32	30
13	平成 6 年(1994) "	"	"	39	33
14	平成 7 年(1995) "	"	"	47	44
15	平成 8 年(1996) "	"	"	31	29
16	平成 9 年(1997)10 月～翌年 9 月	清水 貫司 先生	"	19	13
17	平成 10 年(1998) "	"	"	15	7
18	平成 11 年(1999) "	"	上郷図書館	22	20
19	平成 12 年(2000) "	"	"	13	7
20	平成 13 年(2001) "	"	"	15	14
21	平成 14 年(2002) "	"	"	21	16
22	平成 15 年(2003) "	"	"	24	10
23	平成 16 年(2004) "	"	"	22	14
24	平成 17 年(2005) "	"	"	22	13
25	平成 18 年(2006) "	"	"	16	8
26	平成 19 年(2007) "	"	"	27	11
27	平成 20 年(2008) "	"	"	14	9
28	平成 21 年(2009) "	"	"	27	17
29	平成 22 年(2010) "	"	"	23	10
30	平成 23 年(2011) "	"	"	29	19
31	平成 25 年(2013)5 月～翌年 3 月	鎌倉 貞男 先生	"	15	7
	合 計			960	693

## (2)分館サービスの推進

分館の資料情報をHPに公開したことによる、資料の相互利用がさらに進んだ。分館からの予約のほぼ半数がインターネットで行われ、より迅速に予約処理ができるようになり、利用者の利便性が向上した。

各館ごとの事業では公民館や地区との共催事業、学校や幼・保育園との連携などを中心に、地域に密着した図書館活動を行った。行事参加者の増加をきっかけに図書館利用促進をと、絵本や図書館に因んだクイズを行ったり、飯田市立動物園の係員を招いて動物のお話を伺いながら読みきかせを行うなど、各館ごと創意工夫がされた行事を行った。中央館の事業としては、係員向けの研修を全2回行った。第1回は児童研修を重点的に行い技術の向上を図り、第2回は各分館を回りお互いに情報交換を行い、どちらも意識と活動を見直すよい機会となった。

### ①中央館から分館への貸出冊数

	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	計
H21	618	65	335	286	319	688	204	196	334	220	40	262	635	626	77	7	4,912
H22	394	37	245	364	362	727	254	293	359	237	81	333	1,161	602	117	36	5,602
H23	315	86	336	324	459	602	181	373	518	239	42	258	1,009	624	28	49	5,443
H24	407	104	269	408	455	535	186	201	784	451	129	306	664	683	69	42	5,693
H25	341	95	315	345	277	616	235	322	471	393	276	374	800	522	70	101	5,553
うちWEB予約	262	63	101	278	145	446	221	4	179	263	169	179	325	208	14	5	2,862

### ②各館ごとの事業

\* [共]は公民館・地区との共催行事で読みきかせ等をしたもの

\* 係会の回数には図書整理、店頭購入等を含みます。

分館名	お楽しみ会、行事など				人数	計	係会等回数	その他
	回数	日付	内容	人数				
羽場	22	4/9	こども読書の日	読みきかせ、紙芝居	10	485	7	
		5/13	乳幼児学級[共]	読みきかせ、図書館案内	30			
		5/22	乳幼児学級[共]	読みきかせ、手遊び	55			
		6/1~29	おたのしみクイズ月間	図書館にちなんだクイズを出題	170			
		7/27~8/7	いいもの作ろう(計5回)	ミニコプター	40			
		11/2,3	文化祭[共]	古本市、ウォークラリー	70			
		12/7	クリスマス会[共]	飯田動物園の伊藤先生の話、手遊び、読みきかせ	70			
		1/29~2/8	いいもの作ろう(計5回)	水引しおり作り	40			
丸山	14	5/11	子ども読書の日	読みきかせ、紙芝居、工作(ミニコプター)	18	544	7	子ども21人、大人19人
		5/21,22	乳幼児学級[共]	紹介、分館の見学、新規登録、読みきかせ	50			
		7/6	七夕お楽しみ会[共]	読みきかせ、紙芝居、七夕飾り	21			
		11/9	文化祭[共]	読みきかせ、紙芝居	32			
		12/7	クリスマス会	読みきかせ、クリスマスリース作り	41			
		年8回	丸山保育園[共]	絵本の会読みきかせ	400			
							子ども26人、大人15人	
							50人×8回	

\* [共]は公民館・地区との共催行事で読みきかせ等をしたもの  
 \* 係会の回数には図書整理、店頭購入等を含みます。

分館名	お楽しみ会、行事など				係会等	その他		
東野	33	5/11	子ども読書の日	読みきかせ、工作(ストローロケット)	15	122	4	
		7/6	たなばた会	読みきかせ、飾りづくり	35			
		10/19	秋のおたのしみ会	動物園の方のお話、読みきかせ	12			
		11/2,3	文化祭[共]	古本の配布				
		12/14	クリスマス会	人形劇、読みきかせ、清水先生コンサート	60			
		1/25	かるた会	カルタ、読みきかせ	12			
		9月～3月	0歳児学級[共]		140			20人×7回
		5月～3月	1歳児学級[共]	開講式、本の案内、手遊び、読みきかせ	330			30人×11回
5月～3月	3歳児学級[共]	開講式、本の案内、手遊び、読みきかせ	128	16人×8回				
座光寺	16	4/24～5/1	子ども読書の日[共]	読みきかせ	25	255	3	
		5/17	乳幼児学級[共]	読みきかせ	25			子ども22人、大人22人
		5/23	2歳児学級[共]	読みきかせ	30			子ども18人、大人18人
		7/6	お楽しみ会	ジャンボ紙芝居、読みきかせ、ランプシェード作り、おやつ(ゼリー)	28			子ども25人、大人4人
		12/14	お楽しみ会	絵本読み、手遊び、工作(ジャンピングヘビさん)、おやつ(ホットケーキ)	32			子ども25人、大人3人
		1/15～2/26	座光寺保育園	読みきかせ(計7回)	115			
		2/1,2	文化祭[共]	古本市				子ども50人、大人37人
松尾	64	4/27	子ども読書の日	読みきかせ	22	2,230	8	
		7/2,4,5	松尾小学校[共]	分館利用体験学習	258			
		7/20	七夕お楽しみ会	あっち/ババズの読みきかせ、本の紹介、工作	50			
		12/7	クリスマスお楽しみ会	読みきかせ、紙芝居、ハンドベル、パープサート、工作	50			
		2/1,2	文化祭[共]	古本市				大勢の方が来館
		5月～3月	乳幼児学級[共]	どんぐりクラブ(計9回)	38			
		5月～3月	乳幼児学級[共]	いちごクラブ(計9回)	77			
		10月～3月	慈光松尾保育園[共]	年長組 本の貸し出し(計15回)	666			
		10月～3月	慈光松尾保育園[共]	年中組 本の貸し出し(計7回)	401			
		10月～3月	慈光松尾保育園[共]	年少組 本の貸し出し(計8回)	417			
		11月～2月	松尾東保育園[共]	年長組 読みきかせ、本の貸し出し(計8回)	251			
下久堅	16	5/27	乳幼児学級[共]	利用案内	40	233	6	
		6/15	工作教室	工作(ギターをつくろう)	15			子ども17人、大人2人
		12/14	クリスマスお楽しみ会	読みきかせ	48			子ども39人、大人20人
		3/2	文化祭[共]	展示、古本市				
		月1回	放課後子ども教室[共]	紙芝居、読みきかせ	130			毎回10～15人位
上久堅	34	4/24	子ども読書の日	読みきかせ	8	1,093	8	
		4/24	小学校	読みきかせ	42			
		5/6	小学校	おはなしの会	40			低・高学年1時間ずつ
		5/15	乳幼児学級[共]	読みきかせ、利用案内	8			
		5/29	保育園	読みきかせ	27			
		8/11	人形劇フェスタ[共]	バスツアー	23			40人位
		11/9,10	文化祭[共]	古本市	100			
		12/11	小学校	読みきかせ	42			
		2/8	冬のお楽しみカルタ会	カルタ	15			
		2/26	保育園	読みきかせ	20			
		3/19	いきいき老人教室[共]	読みきかせ、紙芝居	18			
		5月～3月	保育園	読みきかせの会、貸し出し	270			27人×10回
		毎月	小学校	朝読書の会読みきかせ	480			40人×12回

\*〔共〕は公民館・地区との共催行事で読みきかせ等をしたもの  
 \*係会の回数には図書整理、店頭購入等を含みます。

分館名	お楽しみ会、行事など				係会等	その他		
千代	17	4/24	(栄)お話し会	読みきかせ	12	247	3	
		4/24	お話し会	読みきかせ	25			
		6/12	お話し会	読みきかせ、クイズ、紙皿遊び	19			
		6/22	お楽しみ会	ジャンボ読みきかせ、工作(紙コップ工作)、おやつ	23			
		8/6	人形劇フェスタ〔共〕	人形劇・プラネタリウム鑑賞	24			
		11/17	文化祭〔共〕	廃棄本配布				
		12/14	クリスマス会	読みきかせ、工作(三角ツリー)	40			
		12/21	お話し会	読みきかせ、工作(紙コップ工作)、カルタ	14			
		年9回	乳幼児学級〔共〕	乳幼児学級合わせて開館	90			
龍江	9	4/27	子ども読書の日	お話の会	11	268	10	
		7/6	作るお楽しみ会	七夕飾りとおやつ作り	27			
		8/9	人形劇フェスタ〔共〕	バスツアー	42			
		10/9	お話の会	中央図書館斉藤	49			
		11/2,3	文化祭〔共〕	お話の会、古本市	12			
		12/7	クリスマス会	読みきかせ、クラフトペーパーでツリーを作る	47			
		2/1	カルタ会〔共〕	絵カルタ、百人一首、龍江カルタ	52			
		3/1	春のお楽しみ会	ジャンボ紙芝居、龍江笑学校の落語会	28			
竜丘	32	5/8	子ども読書の日	読みきかせ	27	289	13	子ども21人、大人6人
		5/28	図書館見学〔共〕	小学校1年生図書館見学、お話し会	65			
		7/13	七夕まつり	読みきかせ、ジャンボ紙芝居、工作(七夕かざり)	23			子ども18人、大人5人
		9/19	乳幼児学級〔共〕		15			
		11/9~11	文化祭〔共〕	紙芝居、大型絵本、手遊び、工作	91			
		12/14	クリスマス会	人形劇、読みきかせ、工作、南京玉すだれ	43			子ども28人、大人15人
		2/6	カルタ会		12			
		2/18	乳幼児学級〔共〕		13			
		年8回	参観日開館〔共〕					
		9月~2月	小学校〔共〕					
第2水	竜丘保育園来館〔共〕	貸出、読みきかせ(5~12月)						
川路	36	4/20~5/10	おはなし会月間	読みきかせ		154	3	
		7/27~8/30	クイズ月間	ピーターラビットクイズ	19			
		8/1	人形劇フェスタ〔共〕	人形劇観劇ツアー	21			
		9/7~30	クイズ月間	だるまちゃんクイズ				
		10/30	16ミリ映画の日	風の又三郎、どんぐりと山ねこ	22			子ども17人、大人5人
		12/14	クリスマス会	紙粘土でケーキ作り	43			子ども34人、大人9人
		2/1	カルタ会〔共〕		30			子ども20人、大人10人
		3/12	16ミリ映画の日	コレスのぼうけん、かぐや姫	19			子ども17人、大人2人
		4月~2月	乳幼児学級〔共〕	乳幼児学級のあと開館(計8回)				
三穂	54	4/17	お楽しみ会	図書館探検、おはなしの会	44	1,705	6	
		5/7	小学校	読みきかせ	75			
		6/8	お楽しみ会〔共〕	読みきかせ、ホットケーキ作り	35			
		8/8	人形劇フェスタ〔共〕	人形劇観劇バスツアー	33			
		8/11	夏まつり〔共〕	缶アート、読みきかせ	56			
		12/7	クリスマス会〔共〕	段ボールシアター、読みきかせ	58			
		2/9	文化祭〔共〕	古本市、図書館クイズ	42			
		2/13	小学校	読みきかせ	75			
		毎週水	保育園	来館時に読みきかせ	1200			30人×40回
		年2回	いきいきハピリ〔共〕	お話の会	16			
		年4回	乳幼児学級〔共〕	読みきかせ	71			

\* [共]は公民館・地区との共催行事で読みきかせ等をしたもの  
 \* 係会の回数には図書整理、店頭購入等を含みます。

分館名	お楽しみ会、行事など				係会等	その他		
山本	170	5/18	子ども読書の日	山本小児童による影絵、エプロンシアター、ジャンボ絵本	52	3,689	7	子ども37人、大人30人
		10/8	オープンスクール[共]	パネルシアターを作って演じる	17			
		10/13	おはなし隊	講談社	67			
		11/17	文化祭[共]	クリスマスリースを作ろう	80			
		12/7	クリスマス会	山本小児童による人形劇	101			
		年87回	山本小学校	出張読みきかせ	2175			
		年21回	山本保育園	出張読みきかせ	366			
		年10回	さくら保育園	出張読みきかせ	155			
		年10回	久米保育園	出張読みきかせ				
		年17回	乳幼児学級[共]					
年19回	トロ(未就園児)[共]	出張読みきかせ						
伊賀良	32	伊賀良	子ども読書の日	読みきかせ、手遊び(15回実施)	255	1,275	5	子ども180人、大人75人
		6/13	三歳児学級[共]	読みきかせ他	60			子ども26人、大人34人
		7/3	お楽しみ会	読みきかせ他(3回実施)	145			子ども105人、大人40人
		9/4	一歳児学級[共]	読みきかせ、手遊び、わらべうた他	61			子ども30人、大人31人
		10/19	お楽しみ会	読みきかせ、伊賀良小児童による人形劇他	106			子ども63人、大人43人
		11/7	二歳児学級[共]	読みきかせ他	46			子ども18人、大人28人
		11/16,17	文化祭[共]	こわい話	465			子ども360人、大人105人
		2/12	お楽しみ会	読みきかせ、葉っぱのお皿作り	97			子ども71人、大人26人
2/19	一歳児学級[共]	読みきかせ、手遊び、わらべうた他	40	子ども19人、大人21人				
上村	30	5/14	ひよこちゃんの日	読みきかせ、紙芝居	12	207	7	子ども7人、大人5人
		6/8	お楽しみ会	読みきかせ、手遊び、工作(うさぎピョンピョンロケット)	10			
		8/6	人形劇フェスタ[共]	バスツアー	20			
		10/26	お楽しみ会	読みきかせ、紙芝居、段ボールこま作り、五平もち作り	18			
		3/8	お楽しみ会	読みきかせ、紙芝居、ビンゴ	29			
		年17回	小学校	読みきかせ	43			
		年8回	保育園[共]	読みきかせ	60			
南信濃	22	4/23	子ども読書の日	読みきかせ	6	136	10	
		5/18	一人住まいアパート	読みきかせ、人形劇	20			
		6/18	お楽しみ会	読みきかせ	6			
		8/5	お楽しみ会[共]	スポンジ人形作り	30			
		11/16	お楽しみ会[共]	おいしいものたべて、みんなでわいわい	20			
		12/10	お楽しみ会	絵手紙づくり	6			
		12/21	クリスマス会[共]		8			
		2/1	お楽しみ会[共]	おしるこ会とお正月の遊び	40			
		年2回	すこやか学級	読みきかせ				
		毎月	保育園	読みきかせ				

お楽しみ会 回数 601 回  
 お楽しみ会 人数 12,932 人



おたのしみ会の様子(三穂分館)



### (3)障がい者・高齢者サービスの充実

デージー録音図書(CD・カセットテープ)をボランティアの協力により製作し、視覚障がい者、高齢者等、読書が難しい利用者に提供している。この録音図書は、上田点字図書館を通じ全国の利用者、図書館へも提供している。

利用者の高齢化やパソコンからのダウンロードによる利用が増え、自館の貸出冊数は減少傾向にある。そこで、介護施設向けにデージー録音図書のPRを行い、試験的に貸出を行った。また、これらの録音図書を製作するボランティアの研修会、新たなボランティアの募集及び養成に力を入れ取り組んだ。

高齢者等、小さな文字が読みづらい方々のために大活字本を購入し、提供した。

#### ①録音図書貸出タイトル数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
中央	3,128	3,160	3,117	2,058	1,981
県	507	647	745	659	530

#### ②録音図書相互貸借件数(借受)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
中央	276	434	317	143	112

#### ③点字図書相互貸借件数(借受)

	県
件数	154

#### ④障がい者用資料製作状況

##### (ア)録音図書製作数

	CDタイトル数	テープタイトル数	テープ本数
中央	84	24	177

(※1 製作 104 購入 10 他館製作 22 ※2 製作 22 他館製作2)



録音図書製作ボランティア研修会(声の輪)



利用者との交流会(県声のボランティア)

## (イ) 録音雑誌・新聞等製作数

	タイトル数	CD 枚数	テープ本数
中央	8	168	216
鼎	63	4	59

## (ウ) 平成 25 年度末録音図書蔵書数

	CD タイトル数	テープタイトル数	テープ本数
中央	872	2,906	24,892

## ⑤ 平成 25 年度大活字本受入数と年度末蔵書冊数

	中央	鼎	上郷
受入数	24	0	32
蔵書冊数	795	84	991
貸出冊数	2,279	494	372

## ⑥ 高齢者向け図書館講座

## いきいき教室

	上郷
回数(参加者数)	1回(11人)

## (4) 多文化サービスの推進

ブラジル出身者等、外国籍市民の減少に伴い、利用が減っている。貸出の中では英語絵本と中国の文芸作品の利用が多い。利用案内を「国際交流のタベ」で配布する等、広報に努めた。

## ① 外国語図書貸出冊数

	英語	中国語	韓国語	ドイツ語	フランス語	ポルトガル語 スペイン語	その他	合計
中央	527	189	26	0	0	15	5	759
鼎	23	5	0	0	0	0	0	14
上郷	144	5	0	0	0	1	0	205
合計	694	196	26	0	0	16	5	937



## (5) 市民との協働

地名講座や文学連続講座、家系図講座など、図書館の関係団体や市民との協働により、様々な講座や講演会等を行い、図書館に親しんでもらうと共に読書活動の推進に努めた。

第13回となる図書館まつりでは、実行委員となっている団体の活動発表会や展示を12年ぶりに行い、活動の歴史を振り返りお互いの理解を深めた。

### ① 第13回図書館まつり

#### ア 映画会「なつかし名画トクまつり」（優秀映画鑑賞推進事業）

8月25日(日)13:00～17:15 会場：鼎文化センター 参加者 202人

溝口健二監督2作品「西鶴一代女」、「近松物語」を上映

事前に学習会を行い、原作や映画の魅力を学んでチケット販売に取り組んだ。

#### イ 図書館まつり 11月23日(土)～12月1日(日) 参加者合計 1,924人

○図書館まつり実行委員会展示 中央図書館研修室 観覧者 約100人

発表会 11月24日(日)13:00～ 参加者 40人

実行委員の声の輪、子どもの本研究会、飯伊婦人文庫、文章講座同窓会が活動を展示、発表した。



#### ○図書館特別資料展

「わが郷土に電気が灯った！～伊那谷の電気事業～」 観覧者 567人

わが国最初の電気供給事業組合であった竜丘電気利用組合、村営三穂電気、上郷村営電気を中心に、伊那谷の村々に電気が通ってきた歩みやその様子を展示。また地元企業や環境課の協力により、小水力発電の取り組み、灯具のうつりかわりなども展示した。図書館1階から2階まで、階段もつかって展示したことにより、観覧者も多かった。

展示説明会 11月23日(土)13:30～ 参加者 38人



展示キャラクター 「でんきくんとまめちゅー」



#### ○本のリユース

玄関リユース本コーナーで、県立図書館の除籍本約500冊のリユースを行った。

#### ○雑誌の付録プレゼント応募受付 応募数 819人

図書館で定期購入している雑誌の付録プレゼントの応募受付を行い、後日抽選・発表・引き換えを行った。

## ② 文学連続講座

図書館と飯伊婦人文庫が主催する文学連続講座は、平成 25 年度で 6 年目を迎えた。3.11 大震災後、文学が人に及ぼす力の大きさが、飯伊婦人文庫の活動の中でより一層見えてきた平成 25 年度は「文学・今を人間らしく生きる力に」との全体テーマで、大人の文学を学びたいという要望に応えるべく 5 講座を行った。

	日時	講師	テーマ	参加者数
第1回	5月12日(日) 午後1時30分～	吉澤真人氏	『平家物語』の女性哀話 ～祇王・祇女・仏～	52名
第2回	6月30日(日) 午後1時30分～	江宮隆之氏	白磁の人・浅川巧の心と日韓の未来	97名
第3回	7月7日(日) 午後1時30分～	中 繁彦氏	「ノーベル賞作家大江健三郎文学を決定づけた 知能に障害をもつ我が子とのかかわり」	53名
第4回	9月1日(日) 午後1時30分～	長沼万里氏	『源氏物語』をひもとく ～理想人光源氏、その人間くさを追う～	55名
第5回	10月20日(日) 午後1時～		「文学の名作を読む会」 ～読書会交流会を兼ねて～	

## ③ 伊那谷地名講座

平成 24 年から、「伊那谷地名コーナー」の充実と普及を目的に、伊那谷地名研究会と共催で開催している「伊那谷地名講座」は、次はいつかと楽しみにされている方も増え、徐々に定例行事として浸透してきつつある。25 年度は計 139 名が参加し、地名を学ぶことを通じて、郷土の歴史、自然、文化を学んだ。講演を基に展示も行い、多くの方に見てもらうことにより、学びが広がるよう努めた。

通算回数	開催日	テーマ	講師	参加者数
第4回	4月14日(土)	飯田城下町地名探訪	今村 光利	47名
第5回	8月31日(土)	鈴岡城址	下平 隆司	17名
第6回	2月 1日(土)	飯田の地名と白山信仰	今村 光利	75名

\*1～3回はH24年度に開催

## ④ さとうわきこ講演会

子どもの本研究会主催 子どもゆめ基金助成事業 7月6日(土) 中央図書館 参加者 108名

『ばばあちゃん』シリーズなど、子供から大人まで愛される絵本作家であるさとうわきこ氏をお呼びし、講演会を開催した。子育て中の親から、保育者、読書ボランティアなど子どもにかかわる様々な立場の参加者が集まり、心に長く残る講演会となった。



⑤ 一般向け読書推進講座

ア 家系図講座(中央図書館)

第1回 受講者 20人 7月4日(木), 25日(木)

第2回 受講者 20人 9月5日(木), 25日(木)

関正六氏(家系図の氏名閣主宰)を講師に、自分の戸籍を調べ、家系図を作成する講座を行った。当初1回のみ  
の講座の予定だったが、第1回の申し込みで定員の2倍以上の希望があったため、第2回目を開催した。

イ 俳句会(県図書館)

10月19日(水)14:00~15:30 参加 12人

横田欣子氏(NHK学園俳句専任講師)を講師に迎え、「秋の水・柿」などを兼題に俳句会を行った。

ウ 琵琶語り(県図書館)

11月20日(水)14:00~15:00 参加 20人

県地区在住の折山清子氏による琵琶語りで「平家物語」などを楽しんだ。

エ 小唄会(県図書館)

1月23日(木)14:00~15:00 参加 10人

柄木田孝行氏(元県公民館長)を講師に「長生きの秘訣~読書と笑い」をテーマに開催した。

オ 水引教室(おひなさま) (県図書館)

3月7日(金)13:30~15:30 参加 10人

地元の関島正浩氏(関島水引店)を講師に、水引でおひなさまを作った。

⑥ 図書館ボランティア

(単位:人)

活動内容	中央		県		上郷		合計	
	登録者数	延べ人数	登録者数	延べ人数	登録者数	延べ人数	登録者数	延べ人数
書架整理			1	8			1	8
古書整理	1	24					1	24
病院への配本	6	48					6	48
環境整備	1	100	4	15			5	115
イベント			2	2			2	2
学生ボランティア			30	60			30	60
合計	8	172	37	85			45	257



県中生徒による草取り・棚の上の掃除 県図書館



平成25年度 主な行事等

	中央図書館	県図書館
4月	婦人文庫「文学ふるさと探訪」(4/15) 56人 声のボランティア養成講座(4/17～) 第4回地名講座今村光利氏(4/14) 47人	子ども読書週間特別おたのしみ会(4/20)
5月	飯田下伊那図書館協会総会・研修会(5/16) 図書館探検ツアー(5/11) 27人 文学連続講座①吉澤貞人氏(5/12) 52人 手作り絵本巡回展(5/18・19)	子ども読書週間特別親子おたのしみ会(5/9) 県小PTA親子読書講座(5/9) 県声のボランティア総会(5/11) 県小PTA読みきかせボランティア講座(5/16) 下伊那農業高校読み聞かせ講座(5/17)
6月	追手町小学校読み聞かせ(6/5～7) 171人 声の輪利用者交流会(6/14) 婦人文庫総会(6/16) 文学連続講座②江宮隆之氏(6/30) 97人 第1回図書館協議会(6/26)	県みつば保育園年長児来館(5月～11月) 県声のボランティア利用者交流会(6/8) パステルアート(6/15)
7月	婦人文庫豊橋読書会交流会(7/4) 41人 家系図講座①(7/4・25) 20人 声の輪研修会(7/5) 41人 子どもの本研究会さとうわきこ講演会(7/6) 121人 文学連続講座③中繁彦氏(7/7) 53人 なんでもかんでも本でもカタツムリ(7/28) 27人	ぐりぐら ぼうし大会(7/27)
8月	美博まつり(8/3・4)ブース担当 72人 こわいおはなし会(8/8) 130人 人形劇フェスタ公演・ワークショップ(8/9・10) なつかし名画トクトクまつり(8/25)202人 第5回伊那谷地名講座 下平隆司氏(8/31) 17人	ぐりぐら お絵かき大会(8/1,3) おもしろ科学工房協賛“風こまをつくってあそぼう”(8/31)
9月	文学連続講座④ 長沼万里氏(9/1) 55人 家系図講座②(9/5・25)	
10月	読書会交流会/文学の名作を読む会(10/20)31人 防犯ポスター展(10/24～30) 村橋勝子氏社史講座(10/31)	俳句会(10/16) ぐりぐら パペット人形づくり(10/31)
11月	第2回図書館協議会(11/8) 図書館まつり(11/23～12/1) 実行委員会展示100人 発表会40人 特別資料展「わが郷土に電気が灯った！」567人 展示説明会(11/23)38人 雪のオーナメント作り(11/30)10人	県ふれあい文化祭展示(11/9、10) 琵琶語りの会(11/20)
12月	追手町小学校読み聞かせ(12/3～12/5) 214人 雪のオーナメント作り(12/7)7人 冬のスペシャルおたのしみ会(12/7)90人 声の輪利用者交流会(12/13)	
1月	新春おたのしみ福袋(1/5～12) 「朗読駅伝 ～柿ものがたり～」(1/12) 114人 「食べてあそんで柿づくし」(1/19) 31人 「御存じですか？成年後見制度」(1/19)21人	新春おたのしみ福袋(1/5～7) 柄木田孝行氏小唄の会(1/23) 新年特別おたのしみ会(1/25)
2月	第6回伊那谷地名講座 今村光利氏 75人 蔵書点検臨時休館(2/18～2/21)	蔵書点検臨時休館(2/25)
3月	第3回図書館協議会(3/11)	つみぎ講座(3/1) 水引教室(3/7) 県声のボランティア総会(3/15)
定例行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたのしみ会(毎週土曜) 1月から対象別に2回</li> <li>・7カ月児相談での絵本の話(本庁・伊賀良)</li> <li>・2歳児相談での絵本の話(本庁・伊賀良)</li> <li>・乳幼児学級、育児サークル等おはなし会</li> <li>・声の輪例会(月1回)、朗読勉強会(月1回)</li> <li>・録音図書作成ボランティア養成講座(月1回)</li> <li>・婦人文庫運営委員会・読書会各種(月1回)</li> <li>・子どもの本研究会(月1回)</li> <li>・図書館まつり実行委員会(年8回)</li> <li>・3市町間ネットワーク会議(2ヶ月に1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたのしみ会(毎週土曜)</li> <li>・親子おたのしみ会(毎月第2木曜)</li> <li>・7カ月相談での絵本の話(県ブロック)</li> <li>・2歳児相談での絵本の話(県ブロック)</li> <li>・県幼稚園(月2回) ・殿岡保育園(年5回)</li> <li>・県東保育園(年11回)</li> <li>・県幼稚園親子おはなし会(年2回)</li> <li>・県小学級招待(年16回)</li> <li>・乳幼児学級、育児サークル等おはなし会</li> <li>・県声のボランティア研修会(年8回)</li> <li>・『としよかの窓』(月1回発行)</li> </ul>

上郷図書館	分館	職員研修等
	「子ども読書の日」関連事業各種 (4/17～5/18) 第1回分館長主事会(4/25)	
子ども読書週間特別企画「上郷としょかんをたんけんしよう！」(5/8・12)20人・5人 読みきかせボランティア代表者会(5/28) 文章講座開校式(5/19)		「デイジー信州」研修会(5/31) 上田 1名
ちいさいおともだちのためのおはなしかい(6/30) 23人		関東地区公共図書館協議会総会・研究発表会(6/20) 甲府市2名
読みきかせボランティア代表者会(7/21) かいとうだんLからのちょうせんじょう(7/24～8/31) 101人		
上郷小3年図書館利用指導(4回)	分館研修会(7/22)	長野県図書館協会専門研修会(8/23) 長野市2名
おもしろ科学工場の科学教室(9/7) 60人 読みきかせボランティアの会研修会(9/27・28) 71人・54人		国会図書館デジタル送信説明会(9/4) 東京1名 辰野中ブックトーク見学(9/6) 3名 公共図書館初任研(9/27)長野 2名
文章講座同窓会オープン講座(10/12)		県図書館大会(10/19) 大田市 3名 飯伊図書館協会講演会(10/25) 22人 県協会ステップアップ研修(10/28) 32人 図書館総合展セミナー(10/29)横浜 1名
読んでビンゴ(11/6～12/28) 101人		障害者サービス研修会(11/1) 長野市 2名 録音図書制作研修会(11/3) 南信図書館教育研究会(豊丘) 3名
	第2回分館長主事会(12/10)	県図書館協会「製本」修理講習会(12/6) 中野市2名
新春おたのしみ福袋(1/5～12) 浜井場小読書旬間読みきかせ(6回)		
蔵書点検臨時休館日(2/26～27) 上郷小3年調べ学習指導(4回) 上郷小2年図書館利用指導(3回) 読みきかせボランティア代表者会(2/21)	分館研修会(2/26～3/12)	
エルマーといっしょにりゅうをたすけよう！(3/15～) 春のわくわくおはなし会(3/19) 39人		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会(毎週水曜)</li> <li>・こどもの本の会(年10回)</li> <li>・えほんの会(年10回)</li> <li>・7ヶ月相談での絵本の話(上郷・松尾)</li> <li>・2歳児相談での絵本の話(上郷・松尾)</li> <li>・保育園おはなし会 座光寺(年4回)</li> <li>上郷東(年6回) 上郷西(年6回)</li> <li>・育児サークル等お話し会(年3回)</li> <li>・文章講座(年11回)</li> <li>・図書館だより発行(幼保・小・中・高校・一般)のべ10回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分館係会</li> <li>・各分館おたのしみ会</li> <li>・分館だよりの発行</li> <li>・公民館との共催行事</li> <li>・公民館地区文化祭参加</li> <li>・公民館乳幼児学級</li> <li>・保育園・小学校おはなし会</li> <li>・分館研修会(各分館ごと実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童サービス研修会(随時)</li> <li>・レファレンス研修会(随時)</li> <li>・図書館サービス研修会(随時)</li> <li>・郷土資料研修会(随時)</li> <li>・ISO研修会(随時)</li> </ul>

# 資料編



「図書館探検ツアー」H25. 5. 11(中央図書館)

## 1 沿革

### (1) 中央図書館

- ・明治34年 飯田小学校内に飯田文庫設立。  
旧飯田藩主堀家の蔵書を購入。
- ・大正4年11月10日 公立図書館となる。(町立)
- ・昭和6年7月1日 飯田藩連隊区司令部の建物に移る。
- ・昭和13年 書庫新築。
- ・昭和13年2月11日 長野県知事より表彰される。(館の運営宜しきを得、逐年成績みるものあり云々)
- ・昭和23年6月 附設公民館増築。
- ・昭和31年9月30日 近隣7か村と合併し、当館が本館となり、旧7か村の地区に分館を置く。
- ・昭和36年3月31日 川路村合併。川路分館を加え8分館となる。
- ・昭和38年4月1日 飯田市中央公民館内に分室を設ける。
- ・昭和39年3月31日 龍江村・千代村・上久堅村合併・龍江・千代・上久堅を加え11分館となる。
- ・昭和42年11月1日 羽場地区に羽場分室を設ける。
- ・昭和43年4月1日 羽場分室を分館にし、中央・第一・第二公会堂の3か所で貸出をする。(12分館となる)
- ・昭和45年4月1日 飯田市中央公民館内の分室を廃止する。
- ・昭和46年4月1日 丸山分室を分館にし、飯田農協・滝ノ沢集会所の2か所で貸出をする。(13分館となる)
- ・昭和48年6月1日 丸山分館が飯田農協で貸出をしていたが、これを廃し丸山連合自治会集会所(丸山8区旧消防署分署跡)で貸出することになる。
- ・昭和49年2月27日 児童室・婦人文庫室・会議室(新館)竣工。
- ・昭和53年度 モデル分館事業として「児童向け土曜貸出」を、下久堅(5月)、松尾(7月)、龍江(1月)の3館が実施。
- ・昭和54年度 土曜貸出を羽場・千代・伊賀良分館が実施、計6館となる。
- ・昭和54年4月 羽場分館(公民館)完成。
- ・昭和54年10月28日 全面改築移転のため閉館となる。
- ・昭和55年1月8日 飯田文化会館で仮開館開始。
- ・昭和55年1月 飯田市公民館図書室で土曜貸出を始める。(橋南地域へのサービスのため)
- ・昭和55年3月18日 旧図書館を取り壊す。
- ・昭和55年4月 丸山分館(公民館)完成。
- ・昭和56年3月 飯田市公民館図書室での土曜貸出をやめる。
- ・昭和56年5月15日 市立飯田図書館改築完了。
- ・昭和56年7月3日 市立飯田図書館改築完了竣工式。
- ・昭和56年7月5日 市立飯田図書館新館開館。
- ・昭和57年度 座光寺・竜丘・川路・山本土曜貸出実施。
- ・昭和58年 保健課と連携し、7か月乳児相談時に絵本の読みきかせの話を始める。
- ・昭和59年4月 千栄で土曜貸出実施。
- ・昭和59年12月1日 鼎町合併、飯田市立鼎分館となる。
- ・昭和60年4月1日 東野分館(公民館)完成。
- ・昭和60年6月1日 東野分館開館、土曜貸出実施。
- ・平成3年6月15日 本館、ヤングアダルトコーナー開設。
- ・平成5年7月1日 上郷町合併、飯田市立上郷図書館となる。
- ・平成8年4月1日 合併により、市立飯田図書館を飯田市立中央図書館と改称。  
分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。(NEC : LiCS-N)
- ・平成 10 年 3 月 31 日 「飯田市立中央図書館漢籍目録」刊行される。
- ・平成 12 年 8 月 「かこさとしの世界」展 開催される。
- ・平成 13 年 2 月 空調施設改修工事着工。同 6 月稼働 (繰越明許事業)
- ・平成 13 年 11 月 「はじめまして絵本」事業による 7 か月乳児健診時の絵本プレゼント開始。
  
- ・平成 15 年 6 月 かこさとし作『だるまちゃん・りんごんちゃん』出版される。
- ・平成 16 年 7 月 22 日 コンピュータシステム更新、稼働。(NEC : LiCS-RIII)  
図書館ホームページ開設、インターネット蔵書検索開始。
  
- ・平成 16 年 9 月 インターネットによる予約受付開始。
- ・平成 17 年 10 月 上村・南信濃村合併、上村分館・南信濃分館となる。
- ・平成 18 年 4 月 20 日 伊賀良学習交流センター竣工、同施設内に伊賀良分館を移転。
- ・平成 18 年 4 月 29 日 中央図書館で祝日開館を本格実施。
- ・平成 18 年 8 月 25 日 ビジネス支援開始。
- ・平成 19 年 1 月 夜間開館試行。
- ・平成 19 年 3 月 10 日 市岡文書及び古書・飯田文書・村沢資料目録をW e b 上公開。
- ・平成 19 年 5 月 繰り下げ開館試行。
- ・平成 19 年 9 月 毎週木曜日繰り下げ開館 12:00~20:00 開館実施。
- ・平成 20 年 4 月 毎週木曜日 10:00~20:00 開館実施。
- ・平成 23 年 3 月 耐震改修工事竣工 (休館 10 月 18 日~11 月末)。
- ・平成 23 年 12 月 27 日 図書館ネットワークに関する定住自立圏形成の追加協定を松川町・高森町と締結。
  
- ・平成 23 年 7 月 1 日 コンピュータシステム更新、稼働。(NEC : LiCS-Re)  
南信州図書館ネットワークを松川町図書館・高森町立図書館と運用開始。
  
- ・平成 24 年 3 月 16 分館の蔵書データ化を 22 年度と 23 年度 2 か年で実施。
- ・平成 24 年 9 月 16 分館にインターネット用パソコン配置。
- ・平成 24 年 10 月 16 分館の蔵書データをホームページで公開、同時に分館からのインターネット予約開始。
  
- ・平成 25 年 7 月 1 日 美術博物館、歴史研究所の蔵書データをホームページで公開。
- ・平成 26 年 2 月 1 日 国立国会図書館「図書館向けデジタル資料送信サービス」による閲覧開始。

## (2) 地域館

### ① 県図書館

- ・明治 43 年 12 月 7 日 開庫式を行い、青年会が管理、運営を行う。
- ・大正 12 年 7 月 26 日 県より私立図書館として認可される。
- ・昭和 25 年 7 月 公民館図書部として運営される。
- ・昭和 35 年 1 月 旧自治警察署跡へ移転して独立の図書館となる。
- ・昭和 38 年 4 月 1 日 司書 1 名を配置して昼間開館を行う。
- ・昭和 54 年 10 月 27 日 旧自治警察署跡へ図書館改築。
- ・昭和 59 年 12 月 1 日 飯田市と合併、飯田市立県分館となる。
- ・昭和 60 年 4 月 1 日 職員 2 名と土・日パート職員を配置して本館と同じ運営を行う。
- ・平成 5 年 7 月 1 日 上郷図書館と同列の飯田市立県図書館となる。
- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。
- ・平成 11 年 12 月 21 日 共生のまち推進事業実施 (障害者対応施設整備)



## ② 上郷図書館

- ・大正 11 年 4 月 1 日 上郷青年会は上郷文庫設置を決定。
- ・大正 12 年 10 月 10 日 上郷青年会は小学校の一室を借りて上郷文庫を開館。
- ・昭和 2 年 7 月 18 日 文庫を小学校より信用組合に移転。蔵書 675 冊。
- ・昭和 10 年 11 月 22 日 図書館経営と山林経営の協力が認められ、上郷青年会は文部大臣表彰を受ける。
- ・昭和 11 年 7 月 21 日 下黒田に独立図書館建設、開館式。
- ・昭和 15 年 2 月 11 日 優良図書館として県知事表彰。
- ・昭和 16 年 7 月 12 日 上郷青年会図書館を村立上郷図書館へ移管式。
- ・昭和 21 年 7 月 1 日 図書館の一部を改装、国保直営の上郷診療所を併設。
- ・昭和 25 年 9 月 1 日 診療所は高松病院（現ゆうゆう）の位置に移転。
- ・昭和 31 年 7 月 1 日 図書館へ専任職員を置く。
- ・昭和 37 年 1 月 6 日 全日開館を開始、土・日を除き午前 10 時から午後 5 時まで。専任職員を 1 名増員。
- ・昭和 39 年 11 月 1 日 上郷公民館落成にて図書館移転、一階の 3 室を占める。旧図書館は公民館下南分館として払い下げる。
- ・昭和 42 年 4 月 1 日 専任図書館長を置く。夜間開館の係として青年会員の奉仕を受ける。
- ・昭和 58 年 10 月 是枝英子著『知恵の樹を育てる-信州上郷図書館物語-』出版される。
- ・昭和 60 年 4 月 28 日 現図書館開館式。5 月 2 日竣工式。総経費 2 億 7 千万円。（敷地費含む）
- ・平成 5 年 7 月 1 日 飯田市と合併。飯田市立上郷図書館となる。
- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピューターシステム稼働による貸出はじまる。

## (3) 分館

### ① 座光寺分館

- ・明治 36 年 4 月 23 日 青年団は文庫創立資金を村内より募り、文庫規則をつくる。
- ・明治 36 年 10 月 1 日 文庫を「座光寺文庫」と命名し小学校に設置。開庫式を開く。
- ・明治 37 年 10 月 10 日 「座光寺文庫」を「麻績文庫」と改名。
- ・大正 3 年 巡回文庫開設。
- ・大正 14 年 明治 27 年創立の「女子同窓会文庫」と合併する。
- ・昭和 8 年 11 月 4 日 「麻績文庫」規則を改正する。
- ・昭和 14 年 1 月 30 日 社会情勢に対処し、読書機関の重要性を認め、青年団に図書部を新設し、文庫を改革し、文庫の整理をする。
- ・昭和 14 年 3 月 11 日 国立図書館長・松本喜一氏視察する。
- ・昭和 14 年 3 月 19 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き文庫の経営及び製本法の指導を受ける。
- ・昭和 25 年 「麻績文庫」を「座光寺図書館」と改名する。  
北部地区 5 か村（座光寺・上郷・市田・山吹・大島）にて図書館協会をつくる。
- ・昭和 31 年 青年団は図書館財産を村当局に寄付し、公民館図書部として運営する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により市立飯田図書館座光寺分館となる。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 60 年 4 月 1 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

## ② 松尾分館

- ・大正 12 年 12 月 皇太子成婚記念事業として、従来の青年文庫・児童文庫を統一して  
「村立松尾図書館」の設立を計画し、村費 300 円を計上する。
- ・大正 13 年 1 月 26 日 「村立松尾図書館」開館式を行う。書籍数は児童文庫 671 冊、普  
通文庫 575 冊。以来館長には村長、副館長には小学校長、事務員  
には小学校教員があたり、図書館は小学校の建物の中にあり、学  
校にて運営する。
- ・昭和 21 年 図書館を公民館付属建物に移し、青年会が運営する。
- ・昭和 23 年 4 月 図書館が公民館に所属し、公民館図書部にて運営する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館松尾分館となる。
- ・昭和 53 年 7 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 2 年 4 月 14 日 公民館の新築に伴い同館内に分館を併設し毎週土曜日、水曜日、  
第 2・第 4 日曜日に開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

## ③ 下久堅分館

- ・大正 13 年 4 月 下久堅巡回文庫として発足。
- ・昭和 4 年 当時の青年会が中心となって、小学校内に村立図書館を設立。  
村役場へ移転。
- ・昭和 12 年 小学校へ移転。
- ・昭和 16 年 下久堅公民館設立と同時に公民館図書部へ移管。
- ・昭和 23 年 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館下久堅分館となる。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 新館落成。(公民館内に併設)開館。
- ・昭和 44 年 2 月 20 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 53 年 4 月 15 日 土曜貸出を始める。
- ・昭和 53 年 5 月 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 8 年 4 月 1 日

## ④ 上久堅分館

- ・昭和 25 年 4 月 1 日 上久堅公民館が設置されると、図書部として発足する。青年団の  
文化部が管理する。
- ・昭和 32 年 4 月 1 日 公民館図書部が管理する。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 上久堅村は飯田市に合併し、飯田市立図書館上久堅分館となる。
- ・昭和 41 年 11 月 上久堅公民館の一室を図書館とする。
- ・昭和 56 年 4 月 1 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 元年 1 月 分館の部屋を改築し広める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 15 年 5 月 7 日 健康相談室へ図書室を移転。

## ⑤ 千代分館

- ・明治 27 年 千代小学校職員及び青年会有志により、千代小学校内に「千代文  
庫」を創立。
- ・大正 2 年 1 月 30 日 「千代文庫」を千代青年会に管理委託。
- ・大正 12 年 4 月 1 日 御成婚記念として「村立図書館」を設立し、前者を移管。(独立  
施設としての図書館ではなかった)
- ・昭和 12 年 7 月 9 日 村出身、島岡亮太郎氏の寄贈により木造 2 階建 1 棟 (4 間×6 間、  
階段便所つき)の独立図書館を建築。名称「村立千代図書館」と  
して発足。後、館内に「二宮報徳文庫」「児童文庫」「忠勇文庫」  
を特設。
- ・昭和 14 年 2 月 11 日 県下優良図書館として県知事表彰を受ける。
- ・昭和 23 年 4 月 1 日 千代公民館が管理にあたる。

- ・昭和 39 年 3 月 30 日 千代村は飯田市に合併し、飯田市立図書館千代分館となる。
- ・昭和 52 年 6 月 19 日 小学校体育館建設のため取り壊し、小学校内の一部を仮分館とする。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 55 年 4 月 基幹集落センターの一室を図書館とし、開館する。
- ・昭和 59 年 4 月 千栄で土曜貸出を実施する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 23 年 5 月 毛呂窪公民館移転に伴い同建物内に千栄分室を併設し開館する。

## ⑥ 龍江分館

- ・昭和 23 年 龍江公民館が設置されると図書部として発足する。図書室を村役場内に置く。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 龍江村は飯田市に合併し、飯田市立図書館龍江分館となる。
- ・昭和 39 年 7 月 龍江支所事務室を半分に仕切り、その半分を図書室とする。
- ・昭和 54 年 1 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 54 年 職場団体貸出文庫を始める。
- ・昭和 59 年 3 月 12 日 公民館の新築にともない同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

## ⑦ 竜丘分館

- ・大正 9 年 9 月 青年の手により竜丘小学校内に竜丘文庫を設立し、青年会が管理する。
- ・昭和 2 年 各部落に独立文庫ができる。竜丘処女会文庫ができる。
- ・昭和 4 年 2 月 1 日 竜丘分庫、処女会文庫を統合して竜丘図書館を設立する。
- ・昭和 12 年 1 月 26 日 村立図書館となる。
- ・昭和 19 年 12 月 20 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き、読書講習会を開く。
- ・昭和 21 年 3 月 マッカーサーの命により軍事関係の図書約 400 冊を廃棄する。
- ・昭和 23 年 公民館が設置され、公民館図書部となる。
- ・昭和 24 年 7 月 旧竜丘電気組合事務所を買収し、図書館に改造する。
- ・昭和 25 年 10 月 24 日 創立 20 周年記念を兼ね開館式を行う。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村合併により、飯田市立図書館竜丘分館となる。
- ・昭和 51 年 4 月 1 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 13 年 5 月 5 日 公民館の新築に伴い同建物内に併設し開館する。  
(公民館の中心施設として設置)

## ⑧ 川路分館

- ・大正 14 年 小学校内に図書室を設置。
- ・昭和 17 年 3 月 村立川路図書室となる。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 川路村は飯田市に合併し、飯田市立図書館川路分館となる。
- ・昭和 36 年 6 月 27 日 大水害にて蔵書が全部水に浸り、廃棄する。
- ・昭和 41 年 4 月 1 日 飯田市役所川路支所の一室を図書館とする。
- ・昭和 57 年 3 月 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し、開館。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

### ⑨ 三穂分館

- ・明治 29 年 三穂親友会創立。
- ・明治 38 年 日露戦争並びに親友会創立 10 周年記念事業として親友文庫を創設。
- ・大正 11 年 親友会文庫を三穂小学校に移管。
- ・大正 15 年 当時すでに誕生していた三穂青年会部落文庫を統合して村立図書館とする。同時に青年会が運営する。
- ・昭和 22 年 5 月 村立図書館を公民館に移管し、公民館図書部として発足する。
- ・昭和 26 年 部落巡回文庫開設。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館三穂分館となる。
- ・昭和 56 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 59 年 1 月 23 日 公民館の新築に伴い、同建物内に分館を開設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

### ⑩ 山本分館

- ・大正 11 年 各部落の青年会図書をまとめ、役場の 2 階に図書室が設けられる。運営は青年会があたる。
- ・昭和 2 年 山本小学校校庭の一隅の建物に「山本青年会図書室」を設立する。工費 740 円。
- ・昭和 26 年 山本公民館図書部へ移管。この時、青年学校図書もここへ移して一本化する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館山本分館となる。
- ・昭和 35 年 7 月 20 日 山本支所の裏手に倉庫を改造し更に増築。ここに図書館を移す。
- ・昭和 49 年 5 月 11 日 公民館を新築し、その一室を図書館分館とする。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 6 年 4 月 9 日 公民館の新築に伴い、別棟に図書館を併設しオープンする。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

### ⑪ 伊賀良分館

- ・昭和 15 年 1 月 15 日 伊賀良青年団新年総会において、図書館の建設を決議。
- ・昭和 15 年 2 月 北方・赤間栄吉氏の建築寄附により公会堂を改造して利用することとなる。敷地として村役場付近大平田所有を買収。
- ・昭和 15 年 2 月 27 日 県立図書館長の乙部泉三郎氏来村し設計指導する。設計者・木下作治氏。
- ・昭和 25 年 1 月 青年団は図書館が狭くなったので新築を計画を立て、資金の積み立てを計画。以後毎年 5,000 円ないし 10,000 円の積み立て。
- ・昭和 27 年 伊賀良公民館図書部となる。ただし、運営は青年団があたる。
- ・昭和 29 年 再び伊賀良青年団図書部となる。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館伊賀良分館となる。
- ・昭和 35 年 新築することに決定、予算 85 万円。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 新築する。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 63 年 4 月 9 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 63 年 4 月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 18 年 4 月 22 日 伊賀良学習交流センター竣工に伴い、同館内に分館を移転してオープン。
- ・平成 19 年 6 月 開館日を拡大、火曜日と木曜日の午後も開館。
- ・平成 22 年 9 月 木曜日午前中開館

#### ⑫ 羽場分館

- ・昭和42年11月1日 羽場地区に羽場分室を設置。
- ・昭和43年4月1日 羽場分館となり、中央・第1・第2公会堂の3か所で貸出をする。
- ・昭和54年3月27日 公民館の新築に伴いその一室を図書館分館とし、中央公会堂は閉鎖する。
- ・昭和54年5月 土曜貸出を始める。
- ・昭和58年4月 土曜貸出に大人も含める。
- ・平成元年4月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成10年10月 公会堂の改修に伴い、羽場大休の第一分室を閉鎖する。
- ・平成12年3月 羽場大通りの第二分室を閉鎖する。

#### ⑬ 丸山分館

- ・昭和45年4月1日 丸山地区に分室を設置、飯田農協・滝ノ沢集会所の2か所で貸出をする。
- ・昭和46年4月1日 丸山分館となり、飯田農協・滝ノ沢集会所の2か所で貸出をする。
- ・昭和48年6月1日 飯田農協を廃し、丸山連合自治会集会所で貸出をする。
- ・昭和49年7月20日 丸山公民館の一室にて貸出をする。
- ・昭和55年4月 丸山公民館（全面改築）完成、図書室にて貸出をする。
- ・昭和56年4月 土曜貸出を始める。
- ・昭和58年7月16日 丸山連合自治会集会所での貸出を止め、新たに丸山児童館で貸出し、土曜貸出も児童館で行う。
- ・平成元年2月 丸山児童館での貸出を止め、丸山公民館で土曜貸出を始める。
- ・平成2年 滝の沢集会所（新築）滝の沢分室
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成15年3月31日 滝の沢分室を閉鎖する。

#### ⑭ 東野分館

- ・昭和60年4月1日 東野公民館の2階一室に東野分館を設置する。
- ・昭和60年6月1日 開館、土曜貸出を始める。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

#### ⑮ 上村分館

- ・平成17年10月1日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館上村分館となる。
- ・平成22年9月 土曜日開館を第2・第4の10時～12時と改める。

#### ⑯ 南信濃分館

- ・平成17年10月1日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館南信濃分館となる。
- ・平成18年10月1日 定期開館開始。

(4) 飯田図書館 歴代館長

	氏名	兼務／専任	在任期間
初代	掛川良平	兼務	大正4.11～昭和6.3
第二代	両隈喜重	兼務	昭和6.4～昭和13.3
第三代	本堂順一	兼務	昭和13.4～昭和22.3
第四代	伊藤兵三	専任	昭和22.7～昭和24.3
第五代	小林保一(郊人)	専任	昭和25.3～昭和26.9
第六代	本堂順一	兼務	昭和26.10～昭和27.3
第七代	池元威男	専任	昭和27.4～昭和31.3
第八代	松澤太郎	兼務	昭和31.4～昭和39.3
第九代	高堂正男	兼務	昭和39.4～昭和40.3
第十代	池田寿一	専任	昭和40.4～昭和51.3
第十一代	林正敏	専任	昭和51.4～昭和55.3
第十二代	今村兼義	専任	昭和55.4～平成6.3
第十三代	代田一行	専任	平成6.4～平成10.3
第十四代	福澤善紀	専任	平成10.4～平成12.3
第十五代	岡田昌伸	専任	平成12.4～平成17.3
第十六代	稲吉憲一	専任	平成17.4～平成18.3
第十七代	仲平和夫	専任	平成18.4～平成22.3
第十八代	牧内和人	専任	平成22.4～平成25.3
第十九代	加藤みゆき	専任	平成25.4～



## 2 施設

### (1) 中央図書館 (TEL 0265-22-0706・FAX 0265-22-0235)

・敷地	飯田市追手町2丁目677番地3	面積	1,625.47 m <sup>2</sup>
・建物	鉄筋コンクリート3階建		
	建築面積 1,014.28 m <sup>2</sup>	延床面積	2,507.63 m <sup>2</sup>

### (2) 地域館

鼎図書館 (TEL 0265-23-9901・FAX 0265-23-9908)

・敷地	飯田市鼎中平2246番地	面積	1,117 m <sup>2</sup>
・建物	木造平屋建		268.30 m <sup>2</sup>

上郷図書館 (TEL 0265-52-2551・FAX 0265-52-2574)

・敷地	飯田市上郷黒田442番地1	面積	1,249.83 m <sup>2</sup>
・建物	鉄筋コンクリート2階建		
	建築面積 581.89 m <sup>2</sup>	延床面積	1,117.31 m <sup>2</sup>

### (3) 分館

分館名	独立・併設	面積(m <sup>2</sup> )
座光寺	座光寺公民館内	53.00
松尾	松尾公民館内	101.68
下久堅	下久堅公民館内	78.00
上久堅	上久堅農村環境改善センター内	36.45
千代	千代基幹集落センター内	66.25
	毛呂窪公民館(千栄分室)	
龍江	龍江公民館内	77.49
竜丘	竜丘公民館内	136.80
川路	川路公民館内	49.56
三穂	三穂多目的研修センター内	63.18
山本	山本公民館内	90.72
伊賀良	伊賀良学習交流センター内	299.95
羽場	羽場公民館内	58.59
丸山	丸山公民館内	61.20
東野	東野公民館内	78.00
上村	かみっこ交流館内	162.75
南信濃	南信濃学習交流センター内	40.00
16分館・1分室		合計 1,453.62 m <sup>2</sup>

{ 内お話の部屋 28 m<sup>2</sup>  
 内書庫 7.2 m<sup>2</sup>

### (4) コンピュータシステム

平成23年7月1日 新システム導入・南信州図書館ネットワーク運用開始。

- ・参加自治体: 飯田市・松川町・高森町・豊丘村 (H26.7 加入)
- ・新システム: NEC LiCS-Re (リッチクライアント型システム)
- ・MARC : TRC MARC Tタイプ (図書館流通センター)

### 3 職員（平成26年4月1日現在）

#### (1) 中央館・地域館（県・上郷）

中央図書館					
館長	加藤 みゆき（司書）				
情報サービス係	係長	瀧本 明子（司書）	県図書館	館長	矢澤 恵（司書）
		関口 真紀（司書）			北原 朋弥（司書）
		樋本 有希（司書）		臨職	玉置 郁子（司書）
		齊藤千恵美（司書）		パート	福沢 淑子（司書）
	臨職	鈴川小野花（司書）		〃	清川 俊子（司書）
		熊谷 寿志（司書）			
		小池久仁子（司書）			
		的場 美貴（司書）			
		伊藤しのぶ（司書）	上郷図書館	館長	牧内 睦子（司書教諭）
		田中 瑞絵（司書）			木下 和子（司書教諭）
		菅沼 涼太（司書）			北村美由紀（司書）
	パート	矢野 寛子		臨職	加藤 敦子（司書教諭）
	〃	澤上有希子			遠山百合香（司書教諭）
	〃	前澤 道子		パート	前澤 道子
	〃	吉川 里佳（司書）			
ビジネス支援係	係長	熊谷誉司成			
		田平 江里			

#### (2) 分館(16館)

・分館長(各地区公民館長推薦) ・分館主事(公民館主事が兼務)

分館名	分館長	分館主事	分館名	分館長	分館主事
羽場	藤尾 雅子	鈴木 勇氣	龍江	木下 邦子	島田 大輔
丸山	羽生 茂恒	牧内 妙子	竜丘	前沢喜代美	熊谷 隆幸
東野	小町 慶子	和田健太郎	川路	清水 啓子	小島 一人
座光寺	三村 正子	横山 淳也	三穂	井上 延子	下平 一博
松尾	木下 泉	下岡 祥平	山本	金澤 秀子	村松 陽介
下久堅	山下 久枝	野牧 和将	伊賀良	檀原 崔肇	小島 徹
上久堅	桐生 千秋	永田麻巳子	上村	古瀬 幸与	村澤 勝弘
千代	川手 清加	新井 康平	南信濃	鳴澤 泉	林 優一郎

・分館係員(パート職員) 79人が交代勤務(主に水・土・日曜日)

#### 4 図書館協議会委員

(1) 設置根拠

図書館法第 15 条・飯田市立図書館条例第 11 条の規定により図書館協議会を置く。

(2) 任 期：2 年

(3) 任 務：図書館の運営に関し、図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行なうサービス業務について館長に意見を述べる。

(4) 平成 25 年度の主な協議事項

- 第 1 回 6月 26 日 平成 24 年度事業報告・25 年度運営方針及び事業計画  
「伊那谷の自然と文化」をテーマとした取り組みについて
- 第 2 回 11 月 8 日 平成 25 年度事業中間報告・松川町及び高森町図書館視察
- 第 3 回 3 月 11 日 分館視察(川路・竜丘分館)・意見交換

(5) 図書館協議会委員 10 名(平成 26 年度)

久保田雅子(会長)	社会教育関係団体(飯伊婦人文庫)
加藤 静夫(副会長)	社会教育関係団体(読みきかせボランティア連絡会)
大蔵 隆	社会教育関係団体(文章講座同窓会)
林 一之	小学校教頭会(鼎小学校)
林 武史	公民館長会(山本公民館)
松下 敏子	社会教育関係団体(朗読奉仕の会「声の輪」)
松島夕世子	学識経験者
宮田 美絵	学識経験者
村澤 生悦	中学校教頭会(遠山中学校)
矢澤 朱美	公募

## 5 利用案内

### (1) 中央図書館・地域館

- ① 開館時間 午前10時～午後6時  
※中央図書館は、木曜日(祝日を除く)のみ夜8時まで開館
- ② 休館日 毎週月曜日・毎月第4金曜日・年末年始(12/28～1/4)  
※祝日は県・上郷図書館のみ休館(中央は月曜以外の祝日は開館)
- ③ 館内閲覧 開館時間内は誰でも自由に閲覧できる
- ④ 館外貸出 飯田・下伊那地区に在住または通学、通勤している方  
※中央・地域館 1人10冊 分館 1人4冊 貸出期間 2週間

### (2) 分館

#### 【伊賀良分館】

火・水・日曜日：午後 1時～5時  
木・土曜日：午前10時～午後5時

#### 【松尾・竜丘分館】

水曜日：午後 1時～5時  
土曜日：午前10時～午後 5時  
日曜日：午後 1時～5時

#### 【三穂分館】

水曜日：午前 9時30分～11時30分  
午後 3時～5時  
土曜日：午前10時～午後 5時

#### 【山本分館】

水曜日：午後 1時～5時  
※第1・3のみ午前10～12時も開館  
土曜日：午前 9時～午後5時  
日曜日：午後 1時～5時

#### 【羽場・丸山・東野・座光寺・下久堅

#### 上久堅・千代・龍江・川路分館】

水曜日：午後 1時～5時 (川路は2時～・千代は2時30分～)  
土曜日：午前10時～午後 5時

#### 【上村分館】

月～金曜日：午後 3時～5時  
土曜日：第2・4 午前10時～12時

#### 【南信濃分館】

月～金曜日：午後 3時～5時  
土曜日：午前10時～12時

(平成26年3月31日現在)

## 6 予 算

### (1) 当初予算

(単位：千円)

内 訳	平成26年度当初	平成25年度当初	比 較
飯田市予算総額	45,920,000	43,272,000	2,648,000
10款 教育費	5,111,113	4,232,868	878,245
5項 社会教育費	1,807,173	1,896,647	△ 89,474
1目 社会教育総務費	538,507	381,393	157,114
2目 青少年健全育成費	1,670	1,924	△ 254
3目 文化財保護費	156,186	135,675	20,511
4目 公民館費	320,418	322,361	△ 1,943
5目 図書館費	193,859	200,250	△ 6,391
6目 美術博物館費	257,510	248,354	9,156
7目 文化会館費	276,601	544,381	△ 267,780
8目 歴史研究所費	62,422	62,309	113

## (2) 平成25年度決算額一覧

(款)10 教育費 (項)05 社会教育費 (目)05 図書館費 ※人件費を除く (単位:円)

細々目	細 節	中央	県	上 郷	分 館	計	24年度決算	前年度対比
図 書 購 入 費	消耗図書費	19,091,317	3,619,808	7,204,357	6,852,054	36,767,536	37,699,285	△ 931,749
	備品図書費	600,162				600,162	604,795	△ 4,633
図 書 館 管 理 運 営 費	臨時職員賃金	22,470,620				22,470,620	22,257,736	212,884
	消耗品費	1,497,960	219,870	349,893		2,067,723	1,643,878	423,845
	燃料費		47,337	37,945	110,486	195,768	254,979	△ 59,211
	印刷製本費	98,595				98,595	243,035	△ 144,440
	光熱水費	5,362,539	413,832	1,576,819	376,451	7,729,641	6,826,615	903,026
	修繕費	335,345	52,500	71,450	17,115	476,410	538,365	△ 61,955
	通信運搬費	1,661,098	109,855	142,902	56,083	1,969,938	1,949,749	20,189
	手数料	33,335				33,335	42,000	△ 8,665
	保険料	140,506				140,506	186,646	△ 46,140
	委託料	21,652,164				21,652,164	28,637,335	△ 6,985,171
	使用料 及び賃借料	1,968,636	14,515	259,176	44,100	2,286,427	2,258,016	28,411
	工事請負費	1,459,500		181,986	79,170	1,720,656	9,454,087	△ 7,733,431
	備品購入費	35,280				35,280	1,267,350	△ 1,232,070
	負担金 (上郷駐車場)			174,000		174,000	228,000	△ 54,000
	公課費	6,600				6,600	48,000	△ 41,400
図 書 館 事 業 費	委員等報酬	374,500				374,500	481,700	△ 107,200
	賃 金	1,178,010	561,340	604,900	15,516,120	17,860,370	17,665,090	195,280
	報償費	335,977				335,977	364,205	△ 28,228
	旅 費	121,266				121,266	80,847	40,419
	燃料費	272,122				272,122	271,017	1,105
	保険料 (ボランティア)	24,600				24,600	25,500	△ 900
	委託料	954,720				954,720	964,224	△ 9,504
	負担金 補助及び交付金	70,700				70,700	70,700	0
コンピュータシステム運営事業費	7,307,610				7,307,610	7,312,000	△ 4,390	
はじめまして絵本事業費	751,275				751,275	769,755	△ 18,480	
ビジネス支援事業費	440,016				440,016	467,332	△ 27,316	
計		88,244,453	5,039,057	10,603,428	23,051,579	126,938,517	142,612,241	△ 15,673,724

【24年度】緊急雇用創出事業(郷土資料保存事業)3,537,639円  
重点分野雇用創出事業(美博・歴研書誌情報活用事業)17,785,381円

【25年度】緊急雇用創出事業(郷土資料保存事業)14,910,000円

## 7 図書館貴重資料など

### (1) マイクロフィルム

資料名	巻数	資料名	巻数
南信新聞 M35.1.1～	112 巻	第一線 他	1 巻
信州合同新聞	10 巻	平沢文書	27 巻
南信州 ～H23.12	216 巻	飯田市広報他	1 巻
伊那公報	71 巻	下伊那青年他	2 巻
信濃大衆新聞	18 巻	信州青年他	1 巻
信濃時事新聞	20 巻	飯田通信	1 巻
信州日報 ～H23.12	171 巻	竜丘時報	1 巻
南信日報	23 巻	青年史資料 18 地区	71 巻
南信タイムズ	2 巻	青年運動資料(金箱)	8 巻
飯田日日新聞他	1 巻	伊藤大八資料	11 巻
週刊下伊那	2 巻	上郷青年会資料	40 巻
飯田ニュース	3 巻	上郷時報	4 巻
飯田毎日	4 巻	その他新聞	5 巻
飯田の新聞	8 巻	飯田文書	13 巻
信州音楽新聞他	1 巻	郷土雑誌	5 巻
南信時事	11 巻	下伊那連合青年団資料	23 巻
信陽新聞	3 巻	「伊那」 S27.8～S50.12	13 巻
新信州日報	3 巻	小林郊人俳句関係資料	6 巻
南信毎日新聞	1 巻		
森本資料	24 巻		
飯田町小史他	10 巻	平成 25 年度末累計	947 巻

### (2) デジタル資料

資料名	(欠号あり)
郷土新聞「南信州新聞」	昭 29～平 23.12 (H21～H24 年度作成)
〃 「信州日報」(「南信日報」含)	昭 23.6～平 24.12 (H22～H24 年度作成)
〃 「新信州日報」	昭 20.11～昭 22.9 (H22～H24 年度作成)
〃 「南信新聞」	明 35～昭 14.7 (H23・24 年度作成)
〃 「第一線」	大 12・13 (H24 年度作成)
〃 「飯田ニュース」	昭 6.8 (H24 年度作成)
〃 「南信時事」	昭 22～昭 29.9 (H24 年度作成)
〃 「南信タイムズ」	昭 29.7～昭 30.10 (H24 年度作成)
〃 「飯田の新聞」	昭 23.6～昭 29.10 (H24 年度作成)
〃 「下伊那青年」他	(H24 年度作成)
〃 「深山自由新聞」	明 15.3～明 38.3 (H25 年度作成)
〃 「伊那公報」	明 24.2～明 29.3 (H24・25 年度作成)
〃 「信濃時事新聞」	大 4.8～昭 14.7 (H25 年度作成)
〃 「信濃大衆新聞」	昭 6.7～昭和 14.7 (H25 年度作成)
〃 「飯田毎日新聞」	昭 10.11～昭 14.5 (H25 年度作成)
〃 「信州合同新聞」	昭 14.8～昭 17.4 (H25 年度作成)
〃 「上郷時報」「竜丘時報」等	
郷土雑誌「伊那」(戦前分)	昭 27.8～昭 50.12 (H22・25 年度作成)
〃 「あけぼの」等	153 誌



「下伊那教育」「組合製糸研究」等	16 誌	(H22・23 年度作成)
「学園飯田」	8 冊	(H24 年度作成)
郷土の書籍「伊那産業史」等	83 冊	(H25 年度作成)
森本資料（「政治と青年」含む）	172 件	(H25 年度作成)
小林郊人俳句関係資料	64 件	(H25 年度作成)
市岡家文書（書籍除く）	967 件	(H25 年度作成)
堀家蔵書（一部）	57 件	(H25 年度作成)

### (3) 特殊コレクション

#### ① 堀家所蔵古書 1,330 点(7,882 冊)

明治 34 年、飯田文庫が飯田藩主堀氏所蔵の和漢書を購入し、飯田図書館の基礎がつけられた。儒教、国史、中国史等がある。その後飯田図書館で収集した貴重資料、太宰春台の著書等も含まれている。和書については国書総目録（岩波書店刊）に掲載されているため、遠方からの利用者が多い。

#### ② 市岡家所蔵古書 古書 178 点 文書 1,004 点 軸物 6 点 標本 6 点

昭和 25 年、三重県津市 市岡勝太郎氏より飯田関係文書を委託され保管する。江戸時代の伊那谷三代官の一人であった市岡氏は、製糸、元結業の創始者であり、千村役所に勤めた。久々里旅日記や「雲彩寺所蔵古物之図」（写真のみ）等、博物関係の原資料がある。

#### ③ 村沢文庫 1,043 点

飯田市中央通り村沢武夫氏が、昭和 50 年代から亡くなるまで寄贈し続けた郷土資料類である。「伊那歌道史」の原資料となった歌人の短冊や、飯田藩の資料は貴重である

#### ④ 平沢文書 8,300 点(H15.7 飯田市美術博物館へ移管 H16.3 県宝に指定後歴史研究所へ移管、図書館はマイクロフィルム保管)

飯田市下久堅北原の庄屋平沢家に所蔵されていた近世文書である。昭和 43 年 10 月平沢清人氏から寄贈された。太閤朱印検地帳等地方文書として全国的にも、系統づけられている文書として貴重である。

#### ⑤ 飯田文書 243 点

飯田町、上飯田村（上飯田村の地図）の近世文書等。元和～慶応までの文書で「宿継要書留」等が含まれている。

#### ⑥ 森本資料

飯田市松尾新井の森本信也氏から昭和 51 年に寄贈された資料。大正、昭和にかけて国民精神作興会の下伊那支部の事務局をしていた森本州平氏が持っていた全国及び伊那谷の政治活動資料で、伊那谷の近代史をひもとく貴重な資料である。

#### ⑦ 日夏文庫 9,940 冊

飯田市名誉市民 日夏耿之介氏の所蔵されていた図書。日夏氏没後、昭和 56 年に図書館に移管された。洋書、和漢籍・雑誌・詩を中心に文学のものが多。

#### ⑧ 伊藤大八関係資料

飯田市伊賀良上殿岡出身の伊藤大八に送られた明治時代の政治家の手紙類。伊藤大八は、第 1 回衆議院選挙に自由党に属して当選。党の幹部として活躍した。中江兆民、原 敬等の直筆の手紙がある。

#### ⑨ 青年運動史関係資料

昭和 34 年「下伊那青年運動史」が発行され、その原資料となった各青年団の会報等が発行と同時に寄贈された。

#### ⑩ 鉄斎資料

飯田鉄斎愛好会から平成 2 年に寄贈された資料。図書、書、画、拓本がある。

- ⑪ 宮沢文庫 1,283 冊  
飯田へ大学を設立したいという希望を抱いていた、生田村出身の宮沢芳重さんが送り続けてきた図書、雑誌、哲学・数学・天文の図書等。
- ⑫ 正木文庫  
飯田出身、名古屋在住の郷土史家正木敬二氏が執筆するにあたり収集しまとめられた資料。スクラップ帳、生原稿、図書等約 240 点。追悼の会が飯田で行われた際、親族より図書館へ寄贈された。
- ⑬ 河竹文庫 71 冊  
飯田市山本出身で、河竹黙阿弥の長女糸女の養嗣子となった河竹繁俊（飯田市名誉市民）氏と、その次男で演劇研究者河竹登志夫氏の、演劇史・歌舞伎史の著書等。昭和 43 年に飯田市に寄贈された。
- ⑭ 竹村浪の人文庫 1,222 冊  
講師竹村浪の人が使っていた図書類と講談の台本（生原稿）641 冊。一般書 581 冊
- ⑮ 小林郊人文庫  
郷土俳壇史を著した俳人でもあり、昭和 25 年第 5 代図書館長となり伊那谷の郷土資料の収集、保存に尽力し郷土史継承に努めた。代表作『伊那の俳人』『伊那農民騒動史』はじめ四十数冊出版した。氏の蔵書及び俳句資料や丹念な新聞切り抜き資料（昭和 3～41 年）がある。
- ⑯ 木下農業関係資料  
飯田市高羽町木下誠氏から昭和 57 年に寄贈された農業関係資料。農業に関する県内で発行された農業雑誌、特に園芸に関するものが多い。
- ⑰ 横田文子資料  
昭和 11 年第 3 回芥川賞候補ともなった、知久町出身の女流文学者横田文子氏が創刊した「女人文芸」等の雑誌。平成 2 年遺族より寄贈された。その後岡島照子さんから関係者や関係雑誌の寄贈を受け、合わせて横田文子資料として保管している。
- ⑱ 古島文庫 757 冊  
主税町出身の元東京大学名誉教授で、日本を代表する農業史学者であり「古島史学」を築いた古島敏雄氏の著書等。平成 7 年没後、東大にあった蔵書の一部が飯田図書館に寄贈された。
- ⑲ 日下部文庫【上郷図書館所蔵】 2,207 冊  
郷土史家日下部新一氏が所蔵していた図書と資料で、遺族から寄贈された。資料は主として著作活動のために収集したものと思われ、スクラップ帳・生原稿を含む。生前寄贈された郷土雑誌も多数。
- ⑳ 松澤太郎文庫  
平成 20 年 4 月に寄贈された元市長松澤太郎氏の蔵書約 2,200 冊（雑誌含む）。河上肇全集、會津八一の全集と貴重な画集、夏目漱石及び森鷗外の全集など幅広い資料。
- ㉑ 高原日記コレクション【伊賀良学習交流センター所蔵】  
平成 20 年に寄贈された飯田市山本在住ジャーナリスト故高原富保氏の蔵書 704 冊。すべて作家等の日記のみを集めたコレクション。
- ㉒ 松尾亨庵史料  
昭和 63（1988）年に龍江の松尾家より飯田市立図書館に寄託された、松尾亨庵関係史料。内容は、医学・漢学漢詩関係刊本、医学・漢学関係手稿、写本、雑書等。
- ㉓ 清内路煙草資料  
清内路煙草を製造し販売した原澤喜之助（飯田町）関係の資料や書簡等 657 点を清内路の郷土史家桜井伴氏が収集、昭和 60 年当館に寄贈された。

④ 小林正之文庫【上郷図書館所蔵】

竜丘村（飯田市長野原）出身の早稲田大学名誉教授（西洋史学）小林正之氏の蔵書が没後に寄贈されたもの。歴史・社会科学分野を中心とした図書約1,300冊と雑誌約1,200冊。

⑤ 黒田文庫【上郷図書館所蔵】

大正時代から昭和30年代にかけて下黒田青年会が管理運営をしていた地域文庫で、下黒田北集会所に保管されていた主に戦前の出版物686冊が、上郷図書館へ寄贈された。

その他

「飯田市立中央図書館漢籍目録」資料、筒井文庫、木地師資料など



市岡文書 382 信州伊奈郡絵図



堀家蔵書 都名所図会



森本資料 「政治と青年」 第一号

8 利用状況  
(1)貸出冊数推移

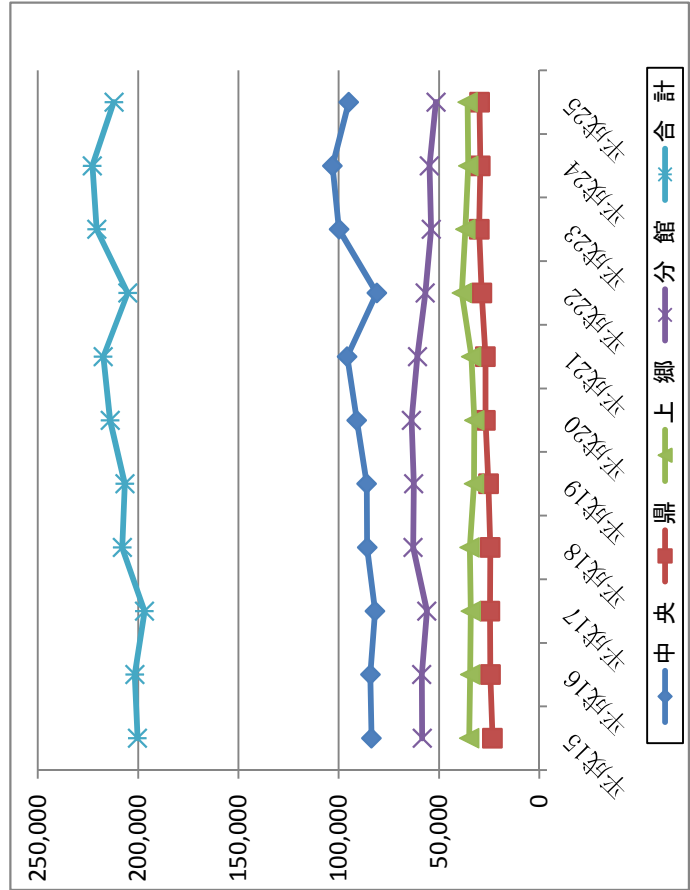
(単位:冊)

	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	前年比	5年前比
中央	380,445	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438	372,118	424,076	425,545	392,296	92.2%	91.0%
鼎	98,510	106,791	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338	139,959	132,310	124,288	123,206	99.1%	100.2%
上郷	142,602	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,060	170,366	152,173	137,150	140,330	102.3%	99.6%
3館計	621,557	635,287	640,545	659,209	662,975	695,075	726,836	682,443	708,559	686,983	655,832	95.5%	94.4%
羽場	19,792	20,699	18,154	16,714	17,577	18,918	16,398	14,170	13,540	13,305	11,013	82.8%	58.2%
丸山	6,809	7,326	8,480	8,761	8,201	7,350	5,868	5,520	5,143	5,105	4,196	82.2%	57.1%
東野	10,427	9,551	10,065	10,343	9,810	11,531	10,417	10,255	9,067	8,893	8,320	93.6%	72.2%
座光寺	8,921	8,425	7,886	7,884	7,099	6,624	7,258	8,157	7,782	7,679	6,760	88.0%	102.1%
松尾	23,397	22,795	20,422	19,291	18,909	19,505	18,957	17,559	16,438	18,222	16,605	91.1%	85.1%
下久堅	14,998	16,050	13,531	13,766	15,772	15,944	15,827	15,713	15,487	12,844	11,619	90.5%	72.9%
上久堅	2,473	4,381	3,557	6,526	6,591	4,559	4,850	5,174	3,094	4,057	4,565	112.5%	100.1%
千代	3,316	3,318	4,847	7,728	6,619	6,097	6,824	6,125	5,289	5,926	5,461	92.2%	89.6%
龍江	11,800	11,013	11,397	10,449	8,851	9,447	8,766	9,428	8,261	7,836	7,495	95.6%	79.3%
竜丘	30,362	31,511	30,223	29,428	31,483	30,409	33,200	29,871	29,150	28,428	26,389	92.8%	86.8%
川路	7,017	7,270	6,596	7,487	6,945	6,666	6,313	6,445	6,152	6,006	6,665	111.0%	100.0%
三穂	8,965	8,831	9,755	10,485	10,684	10,599	8,985	9,340	8,092	8,835	8,770	99.3%	82.7%
山本	12,432	9,518	9,403	11,051	11,511	12,471	12,273	11,151	9,307	11,672	11,114	95.2%	89.1%
伊賀良	23,269	23,478	24,074	37,884	40,420	46,459	42,474	37,926	38,388	39,727	37,695	94.9%	81.1%
上村				971	1,160	886	1,146	1,545	1,131	736	1,161	157.7%	131.0%
南信濃				2,188	5,363	4,853	3,788	3,677	3,546	3,052	2,805	91.9%	57.8%
分館計	183,978	184,166	178,390	200,956	206,995	212,318	203,344	192,056	179,867	182,323	170,633	93.6%	80.4%
合計	805,535	819,453	818,935	860,165	869,970	907,393	930,180	874,499	888,426	869,306	826,465	95.1%	91.1%

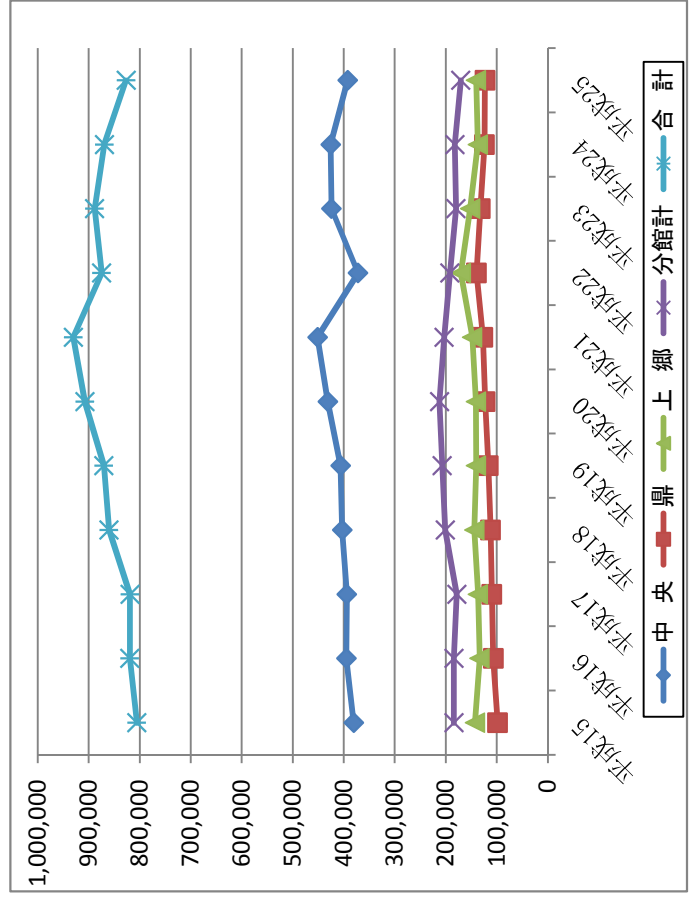
(2)利用者(貸出者)数推移

	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	前年比	5年前比
中央	83,671	84,223	81,942	85,787	86,065	91,024	95,748	81,009	99,865	103,133	94,961	92.1%	104.3%
県	23,320	24,361	24,639	24,462	25,364	26,836	26,906	28,720	30,019	29,453	29,813	101.2%	111.1%
上郷	34,935	34,425	34,108	34,684	32,560	32,342	33,922	38,576	36,804	35,431	35,734	100.9%	110.5%
分館	58,387	58,637	56,096	62,908	62,572	63,746	60,739	56,826	53,932	54,793	51,489	94.0%	80.8%
合計	200,313	201,646	196,785	207,841	206,561	213,948	217,315	205,131	220,620	222,810	211,997	95.1%	99.1%

貸出者数の推移



貸出冊数の推移



(3)平成 25 年度 利用が多かった本ベスト 10

	一般書	郷土資料	児童書	絵本
1	『色彩を持たない多崎 つくると、彼の巡礼の年』 村上 春樹／著	『飯田・上飯田の歴史』 (上・下) 飯田市歴史研究所／編	『番ねずみの ヤカちゃん』 リチャード・ウィルバー／作	『きゅつきゅつきゅつ』 林 明子／作
2	『舟を編む』 三浦 しをん／著	『いいだ・南信州大好き』 安藤 隆一／編著	『ミック！』シリーズ ウォルター・ウィック／作	『くだもの』 平山 和子／作
3	『ホテルローヤル』 桜木 紫乃／著	『鼎町史(上・下)』 鼎町史編纂委員会／編	『エルマーのぼうけん』 ルース・スタイルス・ガネット／作	『がたんごとん がたんごとん』 安西 水丸／作
4	『海賊とよばれた男』 百田 尚樹／著	『飯田市の70年』 伊那史学会／編	『かいけつゾロリ』シリーズ 原 ゆたか／作	『ころころころ』 元永 定正／作
5	『真夏の方程式』 東野 圭吾／著	『鼎町誌』 鼎町誌編纂委員会／編	『みしのたくかにと』 松岡 享子／作	『おにぎり』 平山 和子／絵
6	『ソロモンの偽証』 宮部 みゆき／著	『20 世紀 地域史に貢献した人々』 南信州文化財の会／編	『黒魔女さんが通る!!』 (シリーズ) 石崎 洋司／作	『ぼんだいすき』 ふくしま あきえ／絵
7	『桜ほうさら』 宮部 みゆき／著	『南信濃 飯田ものがたり』 飯田文化財の会／編	『ポケモンをさがせ!』 (シリーズ) 相原 和典／画	『かいじゅうたちの いるところ』 モーリス・センダック／作
8	『64』 横山 秀夫／著	『もっと知りたい 菱田春草』 鶴見 香織／著	『若おかみは小学生!』 (シリーズ) 令丈 ヒロ子／作	『バムとケロの おかいもの』 島田 ゆか／作
9	『禁断の魔術』 東野 圭吾／著	『伊那谷電気の夜明け』 中部電力飯田支社 広報課／編	『伝説の迷路』 香川 元太郎／作	『ととけっこう よがあけた』 ましま せつこ／絵
10	『虚像の道化師』 東野 圭吾／著	『しんしゅうのやま』 宮坂 七郎／著	『はじめてのキャンプ』 林 明子／作	『しろくまちゃんの ほっとけーき』 わかやま けん／絵
10	『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 東野 圭吾／著		『オール仮面ライダー 完全超百科』	



#### (4)利用統計数値

中央・県・上郷・16分館含む

基礎数値（平成26年3月末日現在）

A:人口	104,954	B:蔵書冊数	754,447	C:受入冊数	31,071
D:購入冊数	27,869	E:個人貸出冊数	781,552	F:除籍冊数	16,396
G:図書購入費	37,767,546	H:図書館費	126,938,517	I:個人利用者数	207,360
J:開架図書冊数	463,317	K:個人登録者数	27,805	L:全館総貸出数	826,465
M:全予約件数	49,751				

中央・県・上郷（3館のみ）

N:予約件数	44,925	O:調査相談数	3,328	P:複写サービス	21,449
Q:職員数	23	R:司書有資格者数	22	S:3館総貸出数	655,832

開館日数（中央図書館290日 県図書館286日 上郷図書館285日 分館平均139日）

項目		25年度	24年度	24年度全国平均
市民一人あたり蔵書冊数	B/A	7.19冊	7.00冊	3.28冊
〃 受入冊数	C/A	0.30冊	0.33冊	0.14冊
〃 貸出冊数	E/A	7.45冊	7.80冊	5.47冊
〃 図書購入費	G/A	359円	362円	237円
利用者一人1回あたりの貸出冊数	E/I	3.77冊	3.79冊	
職員一人あたりの貸出冊数	S/Q	28,514冊	29,869冊	
蔵書回転率	L/B	109.6%	117.4%	
開架率	J/B	61.4%	62.7%	
利用者登録率	K/A	26.5%	24.5%	
司書率	R/Q	95.7%	87.0%	

#### ◆サービス効果

平成25年度購入図書平均単価×市民一人あたり貸出冊数－市民一人あたり図書館費

$$\begin{array}{rclclcl}
 G/D & \times & E/A & - & H/A & = & \text{サービス効果} \\
 1,355 \text{円} & \times & 7.4 \text{冊} & - & 1,209 \text{円} & = & 8,818 \text{円}
 \end{array}$$

## 9 「はじめまして絵本」事業に関するアンケート結果(まとめ)

### 1 アンケートの目的

平成13年11月に図書館の『はじめまして絵本』事業として、7ヶ月乳児相談時に絵本のプレゼントと読みきかせを行う事業を開始し、12年が経過した。

過去に2回のアンケート調査を実施し事業の効果を検証しており、平成20年度の調査結果から、第5次飯田市基本構想基本計画推進委員会において「非常に良い事業である」との評価もいただいた。前回調査から5年目の今年度、家庭での読書実態や図書館の活用について把握し、今後の読書推進や子育て支援活動をさらに進めるための基礎資料として、アンケート調査を実施した。

### 2 アンケートの方法

#### (1) 調査対象

飯田市内40の公立及び私立保育園・幼稚園に在園の年少児の保護者

#### (2) 調査対象者数

841人

#### (3) 調査期間

平成25年9月～10月

#### (4) 調査方法

保育園・幼稚園に配布及び回収依頼

### 3 配布及び回収結果

(1) 配布数 773人(未協力:私立保育園2園・私立幼稚園2園)

(2) 有効回収数 621人

(3) 回収率 80.3%

### 4 アンケート結果について

#### (1)「はじめまして絵本」事業について

① 有効回収数621人のうち、飯田市から絵本のプレゼントを受けた568人中555人(97.7%)が、この事業は良いと肯定している。

② 飯田市からプレゼントされた絵本は568人全員(100%)が読んでいる。

③ 絵本の読みきかせをしていなかった352人のうち313人(88.9%)が、プレゼントを機に読むようになった。また、読むようになった313人のうち283人(90.4%)が日常的に(週1～2回以上)読みきかせをしている。

④ 6冊の絵本から1冊を選ぶ方法について、飯田市から絵本のプレゼントを受けた568人中518人(91.2%)が良いと答えている。

⑤ 図書館職員のお話と読みきかせについては、全体の87.8%が良かったと答えており、良くなかったと答えた人は1名のみだった。

## (2) 家庭での読書・図書館利用について

- ① 家庭での読書については、全回答者 621 人中 535 人(88.1%)が日常的に読みきかせをしている。 \* 前回調査時より 1%増加
- ② 絵本の読みきかせをしていなかった 352 人のうち 313 人(88.9%)が、絵本プレゼントをきっかけに家庭で読みきかせをするようになった。  
\* 前回調査より 7%減少したが、以前から読んでいる割合が 4.1%増加
- ③ 日常的に図書館を利用している人は、621 人中 321 人(51.7%)となっている。  
\* 前回調査より 6.1%増加
- ④ 図書館を利用していなかった 401 人のうち 166 人(41.4%)が、絵本プレゼントをきっかけに図書館を利用するようになった。 \* 前回調査より 7.5%増加

## (3) アンケート調査結果から

- ① 「はじめまして絵本」事業による絵本プレゼントが家庭での読みきかせにつながり、図書館の利用に結びつく結果となっている。日常的に読みきかせをしている割合が前回調査時(H21)より 1%増加した。しかし、日常生活の一部として読みきかせをしている割合は 5.7%減少しており、読みきかせの大切さは理解していても実行できていない状況がうかがわれる。一方、図書館利用では日常利用者が前回調査時より 6.1%増加し、読書への理解が浸透してきていると思われる。  
本事業は、絵本を通して“親子で楽しい時間を共有する”ことにより、家庭での読書に対する意識向上に大きな影響を与える効果をもたらしていると考えられる。
- ② 図書館では、子どもの成長にあった質の高い本を乳幼児に手渡すべきであると考え、長年読み継がれてきた絵本 6 冊の中から 1 冊を選んでいただく方法をとってきた。この方法については、多くの方に受け入れられていることが確認できたが、「もう少し多くの本の中から選びたい」「違う本も入れて欲しい」との意見も多く、今後の課題とする。
- ③ 絵本プレゼントと共に事業の柱となっている図書館職員による絵本の話と読みきかせについて、多くの方が共感し、家庭での読みきかせの参考にしてくださっていることがわかった。しかし、声の出し方や読みきかせの技術等について課題も明確になってきたため、今後更に職員の資質向上に努めていく必要がある。

## (4) まとめ

親子が絵本を通し楽しい時間を共有するなかで、乳幼児は愛情に満ちた「ことば」を語りかけられて喜びを感じ、感性を磨き、豊かな想像力を育むと考えられる。それはまた、言葉や心の発達を促すとともに自己肯定や他者を信頼する能力を身に付け、コミュニケーション力の向上へとつながって、「生きる力」を育てる手助けにもなる。

「はじめまして絵本」事業はそれらの礎となる事業として、継続の必要性が実証されたと理解している。

## 10 図書館関係団体

### 「飯伊婦人文庫」（会員数 150 人）

#### ◆飯伊婦人文庫の歴史

昭和 25 年、県立図書館が館外貸出方式の一つとして始めた、本と母親とを子どもを通じて結ぶ制度は、その後県下各地に県 P T A 母親文庫として広がっていった。県南部の飯田下伊那地方においても、昭和 32 年飯田図書館配本所とし、婦人会と P T A の母親を中心に『飯田婦人文庫』・『飯伊母親文庫』の二つの団体が組織され正式に発足した。昭和 46 年 P T A 組織では子どもの卒業とともに会員も離れていってしまうことと、自主的参加による読書会を充実していきたいとの理由から、婦人会を中心とした組織の一本化をはかり、名称も『飯伊婦人文庫』となった。

読書は基本的には個人的な行為であるが、集団だから読める、みんなと一緒に学べるといった環境づくりをめざして、今日まで多くの活動と会員の育成を行ってきた。

#### ◆飯伊婦人文庫の活動

昭和 32 年の発足当時より 3 本の柱を活動の中心に据えてきた。3 本の柱とは『読むこと』、『書くこと』、『話し合うこと』である。この成果は毎年発行される『読書についての文集』や、各種読書会、他団体（豊橋読書サークル連絡会・中津川読書サークル連絡協議会など）との活発な交流などに現れている。これらの活動が評価され平成 4 年には飯田ムトス賞を、平成 10 年には野間読書推進賞を受賞した。

平成 9 年に出版した『みんなで読もう飯伊婦人文庫 40 年の歴史』は、婦人文庫の歩んできた道を多くの資料をもとにまとめてあり、飯田図書館の図書館史にもなっている。14 年 2 月には『つながりー聞き書き・70 人の女性に聞く読書と人生ー』を出版し、人の一生と読書の関係を聞き書きによりまとめることで、多くの読書の科学を獲得した。この出版の波及は高齢者学級や中学生との交流に発展した。これらの活動が図書館まつりの『中学生との読書会』に結実し、『高校生との読書会』へと発展していった。その後、働く市民のための『夜の読書会』に発展して、20 代～40 代男女の参加者が増え続けている。ここから歴史上初めての男性会員が誕生した。

飯田下伊那の各地で連綿と続けられてきた読書会を丹念に聞き書きし、3 人以上で読む読書会が人と人のつながりをより深め、質の高い感動を受け取り、それが生きる糧となってきたことを実証したのが平成 19 年 6 月に出版した『みんなとだから読めた～聞き書きによる飯田下伊那地方の読書会の歴史～』である。本をまとめる中で、声に出してみんなで読む「群読」の持つ意味を言葉化し、文学講座や中学校・公民館など様々な場で「群読」を取り入れながら、広めている。この本は読書界に大きな波紋を投げかけ、飯田市歴史研究所の歴研賞奨励賞を受賞した。平成 19 年に飯田下伊那読書会交流会が 50 年ぶりに開催され、飯田下伊那読書会連絡会に発展して、現在の活動に至っている。

図書館と開催する文学連続講座は 7 年目になった。市民の大人の文学に対する要求は大きく、年々市民の参加が増え、参加者の 3 分の 2 は市民となっている。現在は「自立をめざす 20 年史」の編纂に取り組み、「読書・今を人間らしく生きる力に」をテーマにしてすすめている。

## 朗読奉仕の会「声の輪」 (会員数 65 人)

視覚障がい者など読書に困難がある方々のための、書籍を録音した「声の本」を作成しているボランティアグループ。昭和 57 年より朗読奉仕ボランティアが中央図書館に立ち上がった。一年間の初心者講習を終了した後、朗読ボランティアとして続けていただける方に随時加わっていただく。飯田下伊那には約 1,000 人の視覚障害者があり、内約 100 人の方が「声の本」を利用している。その方々の期待に応えるべく、平成 23 年から DAISY (ディジー) 図書 (CD 版) の作成を中心に以下の活動を行っている。

**「声の本」の作成：** [DAISY 図書・テープ図書、の作成。年間約 100 タイトルの作品を作成し現在までに 3,500 タイトルを超えている。DAISY 図書も平成 11 年より取り組みが始められ、現在までに 900 弱のタイトルが出来上がっている。]

**月刊テープの作成と貸出：** [視覚障害者と会員との情報交換誌として毎月「声の輪だより」の CD 版及びテープ (46 分 1 巻) 版を作成し、約 70 人の方に郵送による貸出を行っている。]

**利用者との交流会：** [利用者との意見交換会と相互親睦をはかるための交流忘年会を毎年開催している]。

**朗読技術向上：** (定例学習会 (毎月第 4 水曜日、第 2 火曜日) の実施と NHK セミナーへの参加と、常に技術向上のための取り組みを行っている。)

質の高い声の本の作成と提供は、声の輪の方々の技術向上へのたゆまぬ努力と、リクエストに対する迅速な対応によって支えられている。また、単に読み手と聞き手の関係だけではなく、視覚障害者の方々の心の支えとなっている。図書館障害者サービスを 30 年以上にわたり支えてきた声の輪は、飯田市立図書館が県下に誇れるボランティアグループである。

## 「文章講座同窓会」 (会員数 同窓会 56 人)

文章講座は、「文章を書くことと読書することとは深いつながりがある。読みを深めるには書くことは欠かせない。また文章を綴るには多くの本を読むことにもなる。読書会があるのだから文章を書く勉強会も必要ではないか」とのかねてからの願いから、“書くことの勉強会”として昭和 57 年 1 月開講した。

まず、第 1 期は新聞社の論説委員をしていた小原謙一氏を講師に迎え、文章についての講義及び作文の添削を中心に行われた。百余名の受講生は毎回レポートを提出し、講師の添削・講評を受け、さらに受講生の作文の中から講義のテキストとして取りあげた作品が地元紙に掲載されるなど活動が定着していった。

平成 9 年の第 16 期より元旭ヶ丘中学校校長の清水貫司氏が講師を務められ、平成 24 年の第 30 期閉講と共に勇退された。

平成 25 年の第 31 期より元高森中学校校長の鎌倉貞男氏を 3 代目の講師に迎え、平成 26 年 5 月に第 32 期が開講したところである。

この文章講座受講者は、講座終了後も各期で自主的なグループをつくり、書くことの相互学習を続けている。このグループをまとめたものを同窓会といい、この同窓会が主体的に取り組んで編集・発行している作品集として『くらしの中から』がある。

### 「子どもの本研究会」 (会員数 12 人)

昭和 45 年から東京、大阪で開催された「日本子どもの本研究会」主催の全国児童文化講座がきっかけとなり、子どもの読書への取り組みに触発された当時の図書館職員が中心となって、学校の読書教育担当者などの協力を得て 47 年 7 月に発会された。当時会費 30 円で会の名称も「飯田子どもの本研究会」とし、学校や保育園・幼稚園の先生、母親など 60 名の会員によってスタートした。読書についての横のつながりができたのはこの時が初めてで、当時としては画期的なことであった。

子どもに本を手渡したいとの思いは、各地に文庫の設立をうながすきっかけとなり、その後、23 もの文庫が市内にできた。文庫の活動はやがて図書館の分館整備の動きへとつながっていった。

また、作品研究、作家研究はやがて作家本人から話を聞いてみたいという欲求を生み、子どもたちが本と出会うにはまず周りの大人が本の素晴らしさを知ることが大切、との意図から「子どもの本の学校」が図書館・子どもの本研究会・地域文庫連絡会共催で開設された。

地域の児童文化にも貢献してきた。子どものための総合文化祭をとの願いから、「飯田子ども劇場」や市の社会教育課とともに立ち上げた「飯田子どもまつり」は、現在まで 30 回以上、回数を重ねながら続けられている。

現在も、会員の自ら学ぶ姿勢と子どもの本に対する会員相互の取り組みは意欲的で変わっていない。その時代時代の中で、地域の読書文化を向上させようと図書館とともに歩んできた。それらの活動は外部からも高く評価され、15 年 4 月には文部科学大臣賞を受賞し、会員相互の大きな励みとなった。

さらに、平成 11 年 5 月より新たな一歩として、会員有志により読みきかせのボランティア活動を開始し、そのための勉強会も行なっていたが、平成 22 年からボランティア活動グループは独自性を重視して独立して活動することとなった。また、一年間の活動記録としての文集を継続的に刊行している。そして子どもの本についての講演会を会独自で年に数回開催したりするなど、会の活動の充実や地域の読書文化の普及に努めている。

### 「読みきかせボランティアの会」 (会員数 10 グループ 108 人)

平成 13・14 年度の 2 回、図書館の事業で読みきかせボランティア養成のための講習会を行った。その後平成 15 年 7 月に図書館の呼びかけにより、市内で読みきかせボランティア活動を行っているグループと講習会の受講者が立ち上げたグループとで「読みきかせボランティアの会」を発足させた。子どもと一緒に絵本の世界を楽しみたい、子どもと本との橋渡しのお手伝いをしたいと願う読みきかせボランティアグループの集まりであるこの会は、他グループと情報を交換したり、研修会を行ったりしている。現在の登録グループは、「読みきかせグループ おはなしのたまご」「下久堅おはなしサークル」「まじっくぼけっと」「丸山おはなしの会」「モン・クール」「おはなしくらぶ おおきな木」「はっぴい・ぷれぜんと」「松尾小学校 読書ボランティア おはなしひろば」「たんぽぽの会」「はじめの一歩」の 10 グループである。

なお図書館では、ひとりでも多くの子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうために、この会に登録しているボランティアグループのリストを作成し、要請に応じて紹介している。

### 「鼎声のボランティアグループ」 (会員数 16 名)

視覚障がいのある方々に聞いていただくため、「新聞コラム」(一週間分の新聞記事より抜粋)、飯田市議会だより、広報かなえ・公民館報かなえ、社協情報「おマメで」を録音しているボランティアグループ。平成 26 年 4 月現在、利用者数 8 名。

昭和 56 年、国際障害者年を契機に鼎町が募集して声のボランティアグループが発足、飯田市との合併を機に、鼎町図書館を拠点に活動を行うようになった。当初は飯田下伊那の史跡を訪ねる「史跡めぐり」を行い、その記録を図書にしたものをテープに録音して鼎地区内の視覚障がい者の方に郵送していたが、利用者の方の要望等により、現在は上記の録音を行っている。録音のほか、利用者の方との交流会、技術向上のための研修会、デジタル録音の研修会等を行っている。

### 「おむすびの会」(手づくり絵本の会) (会員数 16 人)

1981 年(昭和 56 年)夏、我が子の成長記録やつぶやきを書きとめておきたい、また自分自身の絵本を作りたい…との願いから、母親たちが図書館の協力を得て「飯田手づくり絵本の会」を立ち上げた。10 年後に心を込めてにぎるぬくもりあるおむすびにあやかって、「おむすびの会」と名称を変えた。

県内各地の手づくり絵本の会が、共に成長することを願い、横のつながりを持とうと長野県内連絡会を発足させ、その後愛知県、岐阜県へと広がり、現在では 19 の手づくり絵本の会が三県連絡会として活動している。その大きな事業の一つである「手づくり絵本巡回展」も 25 回を数え、今年も 15 会場に 200 冊以上の手作り絵本が展示される。一冊一冊手にとって読むことのできる巡回展は、手づくり絵本に直に触れてもらう大変良い機会である。

また、各地区の乳幼児・母親・高齢者学級や、小・中・高校などでも、手づくり絵本の普及に努めている。製本の方法や、表現の技法、作るための心構えやテーマの持ち方など指導に出向くことが増えている。もっと多くの人たちに世界に一冊だけの手づくり絵本の良さを知ってもらいたいと活動している。今後も子どものため、自分自身のために手づくり絵本を作りたいという方々の輪を広げていきたい。

### 「紅まんさく」(飯田創作童話の会) (会員数 8 人)

1983 年(昭和 58 年)3 月に中央図書館の講座の一つとして発足した創作童話研究会が当会の前身である。その当時開講されていた「子どもの本の学校」(著名童話作家の講演・講義)で学ぶと共に、自分でも童話を書いてみたいと希望する 80 人余が集まり始められた。

しかし、回を重ねるごとに書くことの難しさから、40 人・・20 人・・と減少し、自主運営するころには 15 人ほどになっていた。会の名称も《紅まんさく》(飯田創作童話の会)と改め、現在にいたっている。

発足後 8 年目に『紅まんさく、童話集 1』を 16 年目に『同 2』を出版した。毎月第 3 木曜日に例会を持ち、作品を発表しあっている。——作品には厳しく、人にはやさしく——をモットーとし、刺激し合いながらもよい仲間作りを実践している。

発足 27 年目にあたる平成 22 年 3 月に『紅まんさく、童話集 3』を出版した。